

令和6年度(2024年度) 日野市環境活動レポート



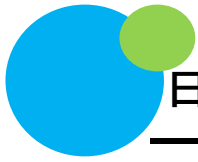
日野市

気候市民会議NEXT・気候YOUTH会議集合写真（表紙の写真）

日野市は、令和6年度に「気候市民会議NEXT」と「気候YOUTH会議」を開催しました。気候変動は、私たち一人ひとりが向き合うべき世界規模の問題です。その影響は、今を生きる人たち、これから生まれてくる子供たち、すべての人に及びます。だからこそ、地域を超えて、世代を超えて、様々な主体が「自分ごと」として受け止め、気候変動への取り組みを加速していく必要があります。

「気候市民会議NEXT」「気候YOUTH会議」は、地域・世代を超えた気候変動の「取り組みの輪を広げる」一環として、市民とともに取り組んだ事業です。詳細は本白書や日野市HPをご覧ください。

令和6年度の重点施策である、「気候市民会議NEXT」の集合写真と「気候YOUTH会議」の集合写真を、今年の表紙として選定いたしました。



日野市環境活動情報レポートの位置付け

本書にまとめた市民、市民・行政との協働、学校等及び事業者による環境への取組は、令和4(2022)年度までは、第1次及び第2次日野市環境基本計画に基づき、取組主体を市・市民・事業者として環境白書にて紹介していました。日野市環境審議会より「市民のコメントについては、年次報告書という環境白書の性質を考慮すると、環境白書以外のものに記載することが望ましい」という意見をいただいたことから、令和5年度より、市民、学校及び事業者など様々な主体による環境への取組の紹介等については、「環境白書」とは別に、「日野市環境活動情報レポート」として発行することといたしました。

日野市環境活動情報レポートは、「今まで環境活動を知らなかった人々へ、団体やその活動について知ってもらう」ことを目的に今後、毎年公表してまいります。

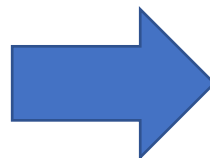
※日野市環境基本計画は、日野市環境基本条例(平成7(1995)年10月5日施行 条例第18号)第9条に基づき策定するもので、平成11(1999)年に第1次日野市環境基本計画を策定、2度の改定を経て、現在は第3次日野市環境基本計画(令和4(2022)年4月1日改定)が施行されています。

※日野市環境基本計画に基づき実施される環境の保全等に係る取組は、日野市環境基本条例第18条に基づき「日野市環境白書」として、その結果を公表しています。

第2次日野市環境基本計画まで

環境白書

市・市民・学校・
事業者等の
取組



第3次日野市環境基本計画より

環境白書

市の取組



環境活動情報レポート

市民・学校・事業者等の
取組



令和6年度(2024年度)日野市環境活動情報レポート

— 目 次 —

・日野市環境活動情報レポートの位置付け

1	1章 市民における環境への取組状況	5
2	2章 幼稚園・保育園における環境への取組状況	46
3	3章 小学校・中学校における環境への取組状況	53
4	4章 高校における環境への取組状況	59
5	5章 事業者における環境への取組状況	60





1 章 市民における環境への取組状況

この章では、日野市で様々な環境活動に取り組んでいる市民(市民団体含む)の活動内容等について紹介します。

団体一覧

団体名称(50音順)	掲載ページ
NPO 法人環境教育ネットワーク	6,7
倉沢里山を愛する会	8,9
認定 NPO 法人子どもへのまなざし	10
市民環境大学 OB 会	11,12
真堂が谷戸蛭の会	13,14
雑木林お助けネットワーク	15
滝合水辺の楽校「浅川っ子の会」	16,17
一般社団法人 TUKURU	18
南丘雑木林を愛する会	19,20
八王子・日野カワセミ会	21
東豊田緑湧会	22,23
ひの市民リサイクルショップ回轉市場	24
日野植物研究グループ	25,26
ひの炭やきクラブ	27,28
日野団塊世代広場	29
ひのどんぐりクラブ(日野市環境学習サポートクラブ)	30
日野の自然を守る会	31,32
日野の水車活用プロジェクト	33
ひの・まちの生ごみを考える会	34,35
日野みどりの推進委員会	36,37
みずとくらす・ひの	38,39
緑を愛する会 日野	40,41
向島の森をはぐくむ会	42,43
谷中山緑地を守る会	44,45

【その他の活動】

○2024年7月13日・2025年3月8日(全2回)

幼稚園児及び小学生対象に基礎的科学実験教室を実施。(八王子市)

(大気圧の威力、ベルヌーイの定理、水中シャボン玉、

高気圧・低気圧、トルネード、やじろべえ、

夕焼と青空を作って見よう)

参加人数:49人



○2024年7月31日～2025年2月11日(全3回)

一般社団法人にて基礎的科学実験教室を実施。(八王子市)

(大気圧の威力、ベルヌーイの定理、

水中シャボン玉、界面活性剤の力量、

透明人間の原理、トルネード 他)

参加人数:63人



○2024年8月12日・11月4日(全2回)

みんなの居場所にて基礎的科学実験教室を実施。(八王子市)

(水中シャボン玉、逆さまコップ、界面活性剤の力量、

トルネード、真水と中性洗剤(紙コップ) 他

参加人数:43人

自由記載



団体名	倉沢里山を愛する会
代表者名	田村はる子
連絡方法	事務局 田村はる子 TEL:042-592-5859 E-mail:kurasawasatoyama@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	日野市百草の倉沢地域で一帯の里山的な景観を永く残し、市民の手でエコ循環を実践しながら、緑地の維持・管理を通じて雑木林や農地の緑に親しみ、同時に会員並びに地域のコミュニケーションを深めていくことを目的として、2000年(平成12年)から活動。
設立年	2000年
主な活動内容	1.下草刈り、落ち葉掃き、樹木の手入れ等、雑木林を中心とする緑地の基本的・日常的な維持・管理作業 2.里山内の市民農園(アリスの丘ファーム1・2・3)の運営・管理及び雑木林の腐葉土をはじめ、おから、牛糞、馬糞等地域内でのエコ循環の実践 3.里山内の希少植物の保護育成・調査 4.会の活動の地域住民への広報、参加の呼びかけ 5.百草・倉沢地区の里山全体の保全のための市民や行政への働きかけ 6.他の市民団体との情報並びに意見交換及び協働活動等 7.外部の諸団体・学校等からの見学・体験参加等、出前授業の受け入れ 8.上記活動を通じて、ボランティア参加市民の交流・交歓のためのイベントの実施、コミュニケーションの提供、高齢層の社会参加機会の提供 (定例活動後は、ランチを通じて交流を深めている。)
主なフィールド	日野市百草の倉沢地区の公有緑地(数か所)を拠点として活動
活動日	月に2回から4回
会員数	家族単位で120家族、登録会員200名
募集	会の趣旨に賛同して下さる方なら、どなたでも何時からでも参加できます。
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()

(設立の経緯)



2000年5月、約100名が参加して倉沢里山散策会を実施。民有緑地を散策・見学し、奇跡的に残されている豊かな自然の状況とその貴重さを改めて強く認識する機会となった。これをきっかけとして、以後、数名の有志にて、雑木林の下草刈り、野草の保護、落ち葉掃き等の活動を積み上げた。1年間の活動実績を踏まえ、2001年5月、活動参加者に加えて活動への理解・支援者を募り「倉沢里山を愛する会」(任意団体)を組織し、現在に至る。最近の活動の参加数は、コンスタントに40名以上にも達している。本活動は、地元地権者のひとりが、日野市内に残された最後の里山として、また都心に最も近い里山として極めて貴重な存在となっている里山が、相続によって乱開発されてしまうことを何とか防ぎたい、との思いから地域住民に呼びかけ、地権者と市民、さらに行政の3者によるパートナーシップを担ったもので、あまり例を見ない新しい形の運動と言える。2001年に実際に発生した相続にあたり、地権者(相続人)の寄付等と市民ボランティア団体の緑地管理支援により、里山がほとんど姿を変えずに残されるという極めて大きな成果を実現することに繋がった。本会の存在と活動の実績が、この緑地公共化のための不可欠の前提条件となった。

(本会の意義)

本会の事業目的は、近隣の市民による里山の緑地保全のための活動であるが、単なる労働奉仕的な側面だけでなく、更にイベントの都度、昼食を食べながら交流をする場を作るなど、市民による緑地保全や農作業を通じて地域住民相互の新しいコミュニケーションの場を提供しており、高齢化社会の進展に合わせ、地域の新たな社会参加の場としての意義も担っている。一方、学生や若い層の参加もあり、世代を超えたコミュニケーションができる貴重な機会も提供しており、今後会員を拡大していく中で、こうした高齢者の積極的な社会参加と同時に、若い層にも参加を呼び掛けて、より幅の広い市民活動として展開していきたい。

自由記載



団体名	認定 NPO 法人子どもへのまなざし
代表者名	中川 ひろみ
連絡方法	TEL:042-843-1282(月～木 10時～17時) E-mail:info@manazashi2009.org
団体案内 (目的・趣旨)	<p>私たちは、子どもたちが地域のあたたかいまなざしの中で育ち、豊かな子ども時代が保障される社会の実現を目指しています。あなたの『子ども時代』を思い出してください。「誰と、どこで、何をして」遊んでいましたか？</p> <p>子どもにとっては『あそび』は生きることそのものです。こんな時だからこそ、子どもにとっての『あそび』の価値を発信し、「子ども時代のあそびを保障する」大人の役割について考えていきたいと思えます。</p>
設立年	2009年
主な活動内容	<p>①プレーパーク「なかだの森であそぼう！」の開催:毎週金曜日と第二・第三土曜日 (年間65日程度)</p> <p>②フリースペース「たけのこ」の運営:毎週月～木 9時～16時30分 定員20名程度</p> <p>③野外保育「まめのめ」(認可外保育施設) 月～金 9時～17時(延長保育あり) 定員30名程度</p> <p>④子どものあそびを保障する 「あそべ!子どもたち」事業 対象:年中～小6 主に夏休みや冬休みに開催</p> <p>⑤仲田の森蚕糸公園等清掃管理(委託事業) 月8回程度 清掃業務を実施</p>
主なフィールド	浅川、仲田の森蚕糸公園、多摩丘陵など
活動日	事業によって活動日が異なります。詳しくはお問合せください。
会員数	正会員 72名 応援会員 80名
募集	プレーパークは0～18歳の子どもだけでなく、大人の方も大歓迎です。 ボランティア募集中!
その他	野外保育「まめのめ」の保護者が、子どもたちの遊び場である浅川のゴミ拾いや草刈りなどを自主的に行っています。
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(研修等人材育成・組織基盤の強化)
自由記載	<p>フリースペース「たけのこ」は、学校に行けない(行かない)子どものための居場所です。西平山の豊かな自然の中で、毎日のびのび過ごしています。子どもはもちろん、関わる全ての大人も支え合い、育ち合う場を目指して「子どもが主人公の居場所づくり」に取り組んでいます。</p> <p>※当団体は認定 NPO のため、ご寄付を頂いた場合は寄付金控除の対象となります。</p> <p>◎ホームページ、Facebook は 隣の QR コードからどうぞ! HP  Facebook  Instagram も随時更新中!</p>



自由記載	<p>市民環境大学OB会の変遷「ニュースレター」より抜粋</p> <p>2009:03 市民環境大学講座第一期 開講(環境センター)</p> <p>2011:03 東日本大震災により福島原発事故で放射能飛散</p> <p>2012:01 市民環境大学OB会発足</p> <p>2012:03 放射線量測定開始 隔月</p> <p>2012:06 「身近な水環境の全国一斉調査」初参加 年1回実施 任意参加</p> <p>2014: 小倉先生著“陸水学入門「川と湖を見る知る探る」”輪読開始</p> <p>2015:03 「ニュースレター」No.1 発刊</p> <p>2015:04 「OB会フィールドワーク 黒川公園見学会」実施</p> <p>2016:07 谷仲山湧水量測定 始まる</p> <p>2016:12 大気汚染測定(NO2)に参加 年2回実施 任意参加</p> <p>2017:04 「カワセミハウス」完成 OB会の拠点も移動</p> <p>2017:04 黒川公園周辺湧水量測定 開始</p> <p>2017:04 新しいテキスト「森林飽和」輪読 開始 約1年で中断</p> <p>2017:11 「OB会 フィールドワーク 北野水再生センター見学会」実施</p> <p>2018:05 「OB会フィールドワーク 豊田用水・用水見学会」実施</p> <p>2018:07 高層マンション基礎工事における黒川清流公園の湧水に異変—新聞報道</p> <p>2019:04 OB会運営規約 作成</p> <p>2019:06 遠藤基金助成金申請受領 1回目</p> <p>2019:07 「OB会フィールドワーク 立川・国立極地研見学会」実施</p> <p>2019:10~2023:04 黒川公園周辺水質調査実施 諸般の事情により約3年半で終了</p> <p>2019:10 「OB会フィールドワーク 小平市上下水道館 見学会」実施</p> <p>2020:07 遠藤基金助成金申請受領 2回目</p> <p>2020:07 「日野の自然を守る会」助成金申請受領</p> <p>2020:07 末包氏 話題提供「3つの話題シリーズ」始まる</p> <p>2020:08 コロナ禍により「ニュースレター」発刊遅延 32・33 合併号となる</p> <p>2021:01-02 コロナによる緊急事態宣言発令により1月2月の例会中止</p> <p>2021:03 「OB会フィールドワーク 日野市クリーンセンター見学会」実施</p> <p>2022:05 「OB会フィールドワーク ミクリの郷・豊田用水・用水を歩く」実施</p> <p>2022:12 小倉先生著書「“東京湾”副題:生きものと共に見る長期的なうつりかわり」発刊</p> <p>2023:04 「OB会フィールドワーク 春の程久保川流域探訪」実施</p> <p>2023:07 OB会と日野市緑と清流課との懇談会開催</p> <p>2023:12 今後のOB会について全体会議→スリム化を推進すべきとの意見により参加上部団体見直し「みみネット」から離脱を決定</p> <p>2024:01 放射線測定方法改正→集団で実施していた測定を個人に委託</p> <p>2024:06 OB会活動成果(黒川清流公園の湧水量・水質・気温の測定結果)を東京都公園協会賞に応募</p> <p>2024:09 OB会ニュースレター 発刊50号を迎える</p>
------	--

種から始めた不耕起栽培



自由記載



不耕起栽培を始めて7年目から、種を手に入れ、種から始めました。耕もしない、肥料も入れなくても実ります。本会は、生物多様性を掲げており、積極的にヤマアカガエルやトンボのヤゴが生息できる環境を提供するため、圃場を通年湛水としています。アカガエルやヤゴを目当てにカルガモ、カワセミ、ヘビ等も出没します。

団体名	雑木林お助けネットワーク
代表者名	事務局:由利祥一、羽吹春奈
連絡方法	E-mail:otasuke600@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	「雑木林お助けネットワーク」は、講座のスキルを活かして役に立ちたいと思っている「雑木林ボランティア講座卒業生」と日野市内で緑地保全活動を行っている「既存活動団体」とを繋ぐネットワークとして発足しました。その後、卒業生の活躍の場は、既存活動団体はもちろん、新たな緑地保全活動やその他の活動にも広がって来ている現状を踏まえ、緑地保全活動に関する各種情報を発信して卒業生に活躍して貰うことを目的としています。
設立年	2019年
主な活動内容	<p>【2024年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地保全作業発生材の加工作業企画 ・雑ボラ講座 20 周年記念シンポの案内 ・市内活動団体の作業お助け案内 ・市内緑地保全プロジェクトの案内 ・市内水と緑に関するシンポジウム案内 ・市内イベントでの協力案内 <p>「日野市内の緑地の手入れで発生する材の有効活用の試み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木林ボランティア講座 20 期卒業生への登録案内と団体紹介 ・書籍案内、観察会案内等の情報提供
主なフィールド	日野市内の緑地及び関連施設
活動日	特定の活動日は無し
会員数	71 名(登録メンバー)
募集	雑木林ボランティア講座卒業生の方で登録ご希望の方はメールでご連絡ください。
その他	イベント案内等ご希望の方はメールでお知らせください。
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(展開情報の不足)
自由記載	<p>日野市「雑木林ボランティア講座卒業生」活躍の仕組み</p>

団体名	滝合水辺の楽校「浅川っ子の会」
代表者名	北川千里
連絡方法	TEL:042-587-6068
団体案内 (目的・趣旨)	浅川沿いに建つ滝合小学校の子ども達が身近な川について総合学習で学んでいくうちに「浅川を遊べる川に!」との思いから「浅川っ子の会」が発足しました
設立年	2006年
主な活動内容	年に5回の行事を行っています ●4月・・・「浅川清掃&春野菜カレー」 ●8月・・・「浅川で遊ぼう」 ●9月・・・「染物体験」 ●11月・・・「浅川清掃&焼き芋」 ●2月・・・「バードウォッチング&七輪パーティー」
主なフィールド	滝合小学校中庭、家庭科室、滝合小学校前の浅川～長沼橋までの川と河原
活動日	年5回の各月の最終日曜日(学校行事により日程変更有)
会員数	スタッフ11名 (行事は滝合小学校生徒、家族自由参加)
募集	各家庭に4月に年間スケジュール配布、行事月に手紙と申込書配布して参加者募集
その他	行事の中止のお知らせは学校正門、西門に中止看板設置とホームページにて
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(年々の気温上昇による川遊びの難しさ)
自由記載	●この浅川が鳥や魚にとって住み良く、私たち大人や子ども達の身近で豊かな川であって欲しいと願って活動を続けています ●大人の私たちがこの「浅川っ子の会」の行事を通して川を楽しみ、川の大切さを感じ次の世代へとバトンを渡していけるよう続けて行きたいと思っています

自由記載

浅川清掃の様子
菜の花の根元部分のゴミを
見つけて拾っています



浅川で遊ぼう！
川の流りにプカプカ・・・
「きもちいい～」

染物体験
「マリーゴールドの花」で染め
ました
マリーゴールドの黄色がとて
も鮮やかです





バードウォッチング
静かに双眼鏡をあて
て・・・

シラサギ！
獲物の魚を見つ
けたようです



団体名	一般社団法人 TUKURU
代表者名	丸木英明 佐藤美千代
連絡方法	E-mail:hinotukuru@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	日野市内でも少なくなっていく農地を守り、誰もが気軽に「農のある暮らし」を楽しむことができれば・・・! そんな思いから市民が集まり「農のある暮らしづくり協議会」を2018年に設立しました。勉強会を重ねながら作成し提案した計画書が、2021年5月、日野市まちづくり条例に基づき「農のある暮らしづくり計画」として決定されました。この計画を推進するために設立した組織です。
設立年	2020年
主な活動内容	<p>市民が農のある暮らしをまちなかで作り継続するには、様々な困りごとにぶつかります。子どもたちと共に自由に農作業したいけど場所がない、場所はあるけど耕す仲間がない、農作業を指導してくれる人がほしい、農機具がないけどどうしたらよいかわからない。たい肥を作りたいけど資材がない、お金がない、などなど、初めてスタートする人にとって壁にぶつかることばかり。一方、農地を管理している方も高齢だが後継者がいなくて困っている、信頼できる人に貸したいけどどうしたらよいかわからない……</p> <p>そんな方たちにたくさん出会ってきました。</p> <p>そこで私たちは、ひとつひとつ困りごとを解決できるよう、行政・企業・団体・市民等と連携し、農ある暮らしの拠点づくりと地域内循環のしくみづくりをサポートしています。</p> <p><TUKURU がつくるもの></p> <p>①地域内循環のまちづくり ～農的活動が持続・発展する仕組みを整えます～ ②担い手づくり ～農のある暮らしを担う人材を繋ぎ、新たな農の価値を創出します～ ③農のある暮らしの拠点づくり ～農のある暮らしの活動拠点を整備します～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①竹チップの地域内循環</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②勉強会やWSの開催</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>③南平市民農園</p> </div> </div>
主なフィールド	日野市内
活動日	随時
会員数	理事2名、監事1名、応援団12名・3団体
募集	応援団を随時募集!
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(人員拡充・事業化)
自由記載	TUKURUの活動の詳細はこちら→  農のある暮らしづくり計画の詳細はこちら→ 

団体名	南丘雑木林を愛する会	
代表者名	老沼 義正	
連絡方法	TEL: 笹木 090-6029-1811 E-mail: 老沼 ysnuma@jcom.zaq.ne.jp	
団体案内 (目的・趣旨)	日野市の雑木林を守るため、市民と行政との協働で開催している「日野市雑木林ボランティア講座」の修了生を中心に、“明るく健全な雑木林を次世代に”をスローガンに 2007年にスタートした雑木林を守るボランティア団体	
設立年	2007年	
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○雑木林の萌芽更新(ほうがこうしん)、間伐や除伐、下草刈り、粗朶柵作り、野草保護などの作業等を中心に活動しています。 ○萌芽更新は広場から見える範囲を目標に萌芽更新エリアとして、「伐採⇒萌芽(ひこばえ)⇒モヤヅケ⇒下草刈り」のサイクル作業を行い、明るい雑木林の維持管理。 ○野草園は林床や身近の植物を保護、 ○ひょうたん池は水溜りと水路を整備して水生生物の住処になるような取り組み。 ○チェーンソーや刈払機の使用に際しては、会員を安全講習会に派遣できるように努め、専門的な技術習得を目指しています。 ○他団体への応援ボランティア 	
主なフィールド	日野市立南平丘陵公園	
活動日	第2日曜日と第4木曜日、9:30~15:00	
会員数	25名	
募集	雑木林ボランティア講座修了時やパンフレットで随時	
その他	日野市雑木林ボランティア講座の実習場所として、協力し応援しています。	
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()	
自由記載	<p>○雑木林は伐採や下草刈りなどの手入れを行うと、多くの野草などが楽しめます。</p> <p>・ヤマルリソウ群生地(左)とキバナアキギリ群生地(右)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

雑木林は四季折々の景観、
新緑の輝き、小さな花々、小
鳥のさえずりや木々のざわめ
きなどをもたらします。雑木
林と一緒に活動しませんか。

「南平丘陵公園」は多摩丘陵
の地形と樹林を残す、面積約
4.1ha、標高差約60m起伏
に富み、通年楽しめる公園。

アクセス



明るく健全な雑木林を次世代に

人間の暮らしにかかわりの薄くなって放置
されたままになっている雑木林は、わずか50
年前まで、私たちの暮らしにかけがえのない大
切な場所でした。

雑木林は薪や炭等の燃料になり、落ち葉は堆
肥として利用され、人々はこの雑木林を維持す
るために約15年毎の萌芽更新や下草刈り、落
ち葉かき等に長い間努めてきました。

雑木林は手入れを怠ると数年で藪になり、生
物多様性がなくなります。萌芽更新サイクルな
どを行えば健全な形で雑木林を残すことが
でき、ボランティアは小さな力ですが、心通っ
た仲間たちとの活動が明日に繋がります。

活動概要

日野市雑木林ボランティア講座が2005年
スタート、2007年に講座修了生が集まり、
立ち上げた会です。

- ・活動場所：日野市立南平丘陵公園
- ・活動内容：萌芽更新、除間伐、粗朶柵、
下草刈りや野草保護など
- ・活動日：第2日曜日、第4木曜日
- ・活動時間：9時30分～15時
- ・年会費：2,000円（ボランティア保険込）
- ・連絡先：代表 老沼
メール：yoinumama1968@gmail.com
事務局：笹木 090-6029-1811

なんきゅう
南丘雑木林を愛する会



日野市立南平丘陵公園で活動する
雑木林ボランティア団体

私たちの合言葉、「ボランティアは人のためではなく自分の目的意識のために楽しく活動するもの」

「活動内容」

- ☆萌芽更新：雑木林の木々は伐採すると切株から萌芽（ひこばえの芽生え）があり、
十数年周期で伐採を行えば健全な雑木林を維持することができます。

「萌芽更新サイクル」



- ☆間伐、除伐：枯損木や景観を妨げる木々を伐採
- ☆粗朶柵作り：伐採した木の用途は少なく、その場に粗朶柵を作り、土砂崩れを防ぐことができます。
- ☆下草刈り：林床の野草を保護しながら、鎌による手刈りや刈払機で行います。
- ☆野草保護：主な自生野草を保護
アマナ・イチヤクソウ・イチリンソウ・
オオバトソウ・キツネノカミソリ・キバナアキギリ・シュラン・
フジバカマ（野草園/種裁）・ハンゲショウ（ひょうたん池/種裁）・ヤマルリソウなど。



- ☆野草園：身近な野草を保護
- ☆ひょうたん池：水溜りと水路を整備、水生生物の住処を目指す
- ☆シイタケ栽培、四ツ目作りなど



団体名	東豊田緑湧会
代表者名	大矢 彰
連絡方法	E-mail:higashitoyodaryokuyu@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	東豊田緑地保全地域の自然環境を維持し、植生の管理・保護・観察を通じて、身近な緑地の保全保護を、継続的にボランティアで行うことを目的としています。
設立年	1997年
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月～2025年3月 定例活動 <ul style="list-style-type: none"> 4月から9月にかけて希少種保護と選択除草。 9月から3月にかけてアズマネザサ刈り。毎年継続し成長を抑制。 12月から2月に落葉掻き。 1年をとおして落枝、枯損木処理。 定例活動の結果、希少種を含む様々な植生を観察できるようになりました。 ・2024年4月～2025年3月 東京都保全地域コーディネート事業(※1) <ul style="list-style-type: none"> 作業計画に則った保全活動を、定例活動のなかで実施。 担当者を交えて年4回の現地での立会を実施。 関係各機関(東京都、日野市、各ボランティア団体)との連絡会に参加。 (※1)生物多様性に配慮した保全地域毎の目指す姿を関係者全員で実現する活動 ・東京グリーンシップ(東京都主管の企業や各団体のボランティア活動を受入れる活動) <ul style="list-style-type: none"> 2024年度は黒川公園立ち入り禁止のため、残念ながら実施できず。 ・日野市各種協議会へ参加し、情報共有と共同活動。
主なフィールド	東豊田緑地保全地域
活動日	毎月 第1、第3土曜日
会員数	16名
募集	常時募集しています。メールでご連絡ください。
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<p>東豊田緑湧会は「東豊田緑地保全地域」の保全の一部を担っていますが、この保全地域を守り育てているのはこの保全地域を「知っていて大切に思っている」人々だと思います。</p> <p>「東豊田緑地保全地域」という硬い名称を知らなくても、近くに住んでいたり、近くを歩いたり、その中で遊んだりといういろいろな形で「知っていて大切に思っている」人々は日野市民に限らず大勢いると思います。</p> <p>もちろん一緒に活動しようと思ったださることは大歓迎ですが、「東豊田緑地保全地域」を愛おしく思う応援団の一員になってもらえたら嬉しいです。</p>

定例活動風景

希少種保護



自由記載

アズマネザサ刈り



枯損木処理

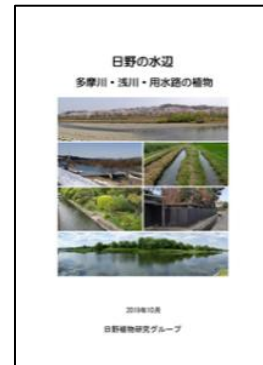


団体名	ひの市民リサイクルショップ回転市場
代表者名	関口 裕子
連絡方法	TEL:万願寺店 042-581-1781
団体案内 (目的・趣旨)	<p>日野市の支援のもと、市民の皆様から無償で提供された中古衣類・雑貨品等の販売を通して「使い捨ての暮らしを見直し</p> <p>①物を大切に作る暮らし ②ごみになる物を買わない暮らし ③ごみを出さない暮らし」</p> <p>に変えていく呼びかけをし、それに役立つ情報の発信と実践活動をしています。また、安全で環境に負荷の少ない石けん製品の販売もしています。売り上げ金を店の運営・情報発信・市民還元イベントなどに活用しています。</p>
設立年	1992年
主な活動内容	<p>多摩都市モノレール万願寺駅前スーパーいなげや2階 万願寺店開店時間・曜日:11時~16時/水曜日~日曜日(除く祝日) 夏期休店/年末年始休店あります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクの受付窓口 ・2024年6/2(日)~22(土)「カワセミハウス環境パネル展」参加 ・2024年7/28(日)「マザアスマルシェ」に参加 ・2024年10/13(日)「まちづくり市民フェア2024」に参加 ・2024年10/26(土)「いきいき祭り」に参加 ・2024年11/9(土)「還元イベント 古布を使ってクリスマスリース作り」開催 ・2024年12/1(日) 着物特別販売実施 ・2024年 身近な環境問題の発信を目的とした「回転市場だより」を発行 ・フードバンクTAMAへの提供(衣類・文具・バック等) ・実践女子大学とコラボ(活用しきれない提供品でアップサイクル)
主なフィールド	回転市場 万願寺店
活動日	店当番日・イベント開催日・作業日など
会員数	17名
募集	活動の趣旨に賛同し一緒に活動していただける方
その他	活動費1時間500円支給/交通費実費支給
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<p>ひの市民リサイクルショップ回転市場は、市民活動団体です。</p> <p>市の支援を受け、「ごみを減らし次世代により良い環境を残すために」を目的に有償ボランティアとして活動しています。ぜひ一緒に活動しませんか！</p>

団体名	日野植物研究グループ
代表者名	～2024年(令和6年) 長岡 聡子 2025年(令和7年)～ 中西 由美子
連絡方法	E-mail:hino.midowaku@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	市内に生育する野生の植物を調べている植物好きの仲間たちの集まりです。市内には台地斜面、多摩丘陵に残るコナラ林、多摩川や浅川の水辺や湿地、河畔林、水田、総延長100kmを超える用水路などに多種多様な植物種が生育しています。それらの種が先輩たちによって語り継がれ、守られてきたことに敬意を表しながら、豊かな自然を残すために活動しています。
設立年	2014年
主な活動内容	<p>1. 日野市植物目録の刊行 本グループでは2014年に『日野市重要自然地域の植物相』、2019年に『日野の水辺 多摩川・浅川の植物』を調査に基づき刊行した。本年は3冊目の集大成として『日野市高等植物目録 2024』を作成し、仕上げることを決め2024年 10月完成。</p> <p>2. 多摩川と浅川合流点の堤防草刈りについて 国土交通省京浜河川事務所との現場立ち合いを実施 年2回(4月と8月)、堤防上に生育する希少種(ヒメシオン、レンリソウ、ツルフジバカマ、アマドコロ、スズサイコなど)の保全に向けて保護柵や保護用の杭などを設置して保全に努めた。</p> <p>3. カワセミハウス企画展『日野の植物たち』に協力 11月2～4日実施。日野市内の植物写真、動画(成島忠之作成)に加えて特別展示として、『果実と種子』について実際に採集し、どのように散布されるかなどを展示。黒川清流公園の植物観察実施(講師:中西由美子)。</p> <p>4. 植物観察会 植物への知識、違いを見極める力、どのような地域に生育する植物か、などを現地で学ぶために観察会を開く。</p>
主なフィールド	日野市内全域
活動日	一か月に一度打ち合わせをして進捗状況を見ながら方針を決め、進めて来た
会員数	18名
募集	2024年度は目録刊行のために観察会が少なかったが、観察会時など随時
その他	自然に興味があり、野生植物に興味のある方ぜひご参加ください
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()

自由記載

2019年刊行した
『日野の水辺 多摩川・浅川の植物』



『日野市高等植物目録 2024』

表紙 2024年10月刊行

グループが2014年から始めた市内全域の植物調査、先輩方が調べた文献、各地の博物館に残る標本も調べた結果をまとめました。

牧野富太郎氏が市内の河原を歩き、カワラハハコ、カワラノギクの標本を1930年代に残したことも知ることができます。

市内1,527種について、和名・学名・文献・外来種と在来種の区分・希少種の区分・標本の有無・グループの調査結果などが1～2行でまとめられています。

市内に生育する植物の宝箱です。市内図書館で見られます。


手元に置いてじっくりご覧になりたい方は1冊1,000円で頒布しています。連絡方法の欄にメールしてください。



河原の調査風景




京浜河川事務所立ち合い
で保護策を設置。
2024. 4. 28

団体名	ひの炭やきクラブ
代表者名	富山(とみやま) 茂光
連絡方法	TEL:090-8807-5437 E-mail: gg.mt.tomi222@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	「里山、雑木林管理の一環である”炭やき”を地域住民の理解を得て行い、産出された炭などを”炭やきは地球を救う”を合言葉に、日野市の多様な生物と持続可能な循環型社会創りに貢献する」
設立年	2008年
主な活動内容	<p>①、本年度初めて公募による「体験講座」を2回中止 ・10/13「市民フェア」参加の為10月開催中止 ・2月開催を会員全員での華炭材料採取の為中止</p> <p>②、「(鑑賞炭)お華炭づくり体験講座」の開催 通常は ・1月(会員のみで開催) ・4月(会員による総会の開催)を除き 毎月第二日曜日 10:00～15:00 に 落川交流センター・落川林間公園で開催 (年間活動日は「活動日」の項を参照)</p>  <p>③、落川交流センターのイベントへの参加 6/2 落川交流センター・運営委員会総会 9/8 秋祭り(焼きとうもろこしの販売) 11/10 落川交流センター「ごみゼロ収穫祭」薪を燃やしての焼き芋を担当 1/26 もちつき大会(甘酒担当)</p> <p>④、カワセミハウスのイベント参加 5/11 カワセミハウス協議会 6/1 オオブタクサ引き抜き大会 6/2～6/22 環境分科会・環境パネル展へ出展 10/12 「オクトーバーフェスト」へ「マッチで薪を燃やそう体験講座」・「炭鉢プラント作り体験講座」で参加 11/30 カワセミハウス協議会へ参加 2/3 カワセミハウス協議会</p> <p>⑤、「みみネット(水と緑の日野・市民ネットワーク)」への参加 ・毎月第一木曜日、みみネットの会議へ参加 ・9/28 シンポジウム「日野市雑木林ボランティア講座 20周年」に講座卒業生団体として、またスタッフとしても参加</p>

	⑥、NPO 法人市民活動ネットワークへの参加 11/15 市民フェア(ふれあいホール)へ参加
主なフィールド	日野市立落川交流センター(兼 日野市立林間公園)
活動日	公募による「鑑賞炭(お華炭)づくり」体験講座の開催日 2024年5/12、6/9、7/14、8/11、9/15、11/17、12/9、2025年 3/9
会員数	12名
募集	①、日野市広報「ひの」の「みんなのメモ帳、講習・学習会」の欄で、開催月の体験希望者を募集 ②、地域活動・イベント紹介サイト「Hi Know!(ひのう)」掲載
その他	所属する団体及び所属団体が主催するイベントへの参加 ①、落川交流センター・運営委員会:毎月開催の炊き出しマルシェ、薪割りソーメン流し大会、ごみゼロ収穫祭、お正月餅つき大会 ②、カワセミハウス連絡協議会:環境パネル展、オクトーバーフェスト、環境分科会 ③、みみネット(水と緑の日野・市民ネットワーク):会議への参加、シンポジウム ④、ひの市民活動ネットワーク:「市民フェア」
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input checked="" type="checkbox"/> その他(近隣の揚煙と臭気の対策)
自由記載	今までの『炭の有効普及活動』 イ、樹木の再生・土壌改良事業(樹木の鉢周りに木炭片の鋤き込み) ・「一ツ橋大学の正門前の大桜」東京都国立市大学通り・桜並木 ・「京王・百草園、梅ノ木(樹齢約700年・シンボルツリー)」 ロ、本窯炭やき協力事業「動物消臭用炭づくり」・「河川浄化用炭づくり」 ・「東京都多摩動物公園内炭窯」(現在は廃炉) ・日野市内「河川浄化」(市内の炭やき本窯3基共停止中の為活動停止) ハ、建物の除湿・調湿事業 ・「吉川英治記念館・書斎床下炭入れ(約100kg)」 2016(H28年)年6月19日

団体名	日野団塊世代広場	
代表者名	堀内 和夫	
連絡方法	日野団塊世代広場事務所(日野市平山台健康・市民支援センター内) E-mail : info104@dsedai.com	
団体案内 (目的・趣旨)	<p>団塊世代をはじめとするシニア世代が培ってきた各自の経験・技術を生かして、地域に役立つ、自らも生き生き生活できることをめざし、以下の二つを実現目標としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・培った経験や知識、スキルを活かし、自分たち自身が地域で活躍する。 ・培った経験や知識、スキルを活かし、地域での活躍を目指す人達の支援をする。 	
設立年	2007年	
主な活動内容	<p>「日野団塊世代広場」は、『生きがい、働きがい、地域がい』を持って、健康で生活を楽しみながら地域づくりに貢献することを目的として活動しています。パソコン、太極拳、俳句、洋裁などの教室も開催しています。</p> <p>活動の一環として 2009 年から百草山での「明るい雑木林」作りに取り組んでいます。18人で雑木林チームを編成しており、6人は「雑木林ボランティア講座」の修了生です。活動としては、雑木林・竹林の手入れ作業を行いながら次のような取り組みを行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木林及び竹林の保全管理 (下草刈、萌芽更新、雑木林育成、作業道作り等) ・植物の貴重種の確認など現況の調査及び自然観察会の実施 ・小中学生の自然教育の場としての昆虫観察会の実施 ・竹ぼっくりの製作、イベントにて子供たちに配布を行い子供の運動能力向上に資する。 ・まちづくり市民フェアに出展し、日野団塊世代広場の活動のPRや手作り品等の販売 	
主なフィールド	京王百草園駅から徒歩 5 分、百草園の北側に隣接した雑木林主体の仮称:百草山緑地(公有地)	
活動日	第 2 日曜日、第 4 土曜日 9 時～15 時	
会員数	24 人。百草山活動者 延べ 306 人/2024 年度	
募集	ホームページ http://www.dsedai.com/ “日野団塊世代広場”で検索	
その他	なし	
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()	
自由記載	<p>竹を活用したいグループから市を通して連絡があり、「竹活用の流れ」を作る試行中。 雑木林及び竹林の整備で発生する剪定枝などを可燃ごみにならないように場内処分するとともに、チップ化や炭化等により資源化し再活用する方法を、他のボランティアグループと協働で取り組んでいます。</p>	



団体名	ひのどんぐりクラブ(日野市環境学習サポートクラブ)
代表者名	成島 信子
連絡方法	カワセミハウス(事務局) TEL・Fax:042-581-1164 E-mail:kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp
団体案内 (目的・趣旨)	ひのどんぐりクラブはカワセミハウスと連携のもと、子ども達の環境学習を支援することを目的とし、主に市内の小学校を中心に活動しています。
設立年	2007年
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内や学校周辺の緑地、公園、川などで野鳥や植物の観察、川遊びや魚捕り、虫捕り等の体験学習のサポート ・自然物(木の実や葉、枝等)を利用した工作 ・学校等からの要請に応じ、資料や使用材料を提供(支援メニューの例) ・ガサガサ(水生生物の観察) ・バツタ捕り ・季節のビンゴ ・野鳥観察 ・葉っぱのスタンプ ・リースづくり ・まつぼっくりのツリーやけん玉 ・どんぐりのコマやヤジロペー ・連凧 ・紙ひこーき作り <p>●2024 年度活動実績 支援数 49 支援対象人数(延べ)3,455 人</p>
	 <p>川での自然体験学習(ガサガサ)</p>
主なフィールド*	市内小学校、公園、緑地、浅川、多摩川、カワセミハウス他
活動日	支援要請のあった日、定例会:月1回第一水曜日、研修会:年1-2回、 木の実やツルなどの素材集め、工作に使う材料の加工(木のプレート作り等)作業:随時
会員数	20名
募集	会員募集中!子ども達のエネルギーのなかで、人生の先輩として活動しませんか?
その他	ホームページ「ひのどんぐりクラブ」 http://www.hino-donguri.com/index.html
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<p>私たちがサポートすることで、子ども達に自然の素晴らしさを実感する機会が増え、今ある環境を大切にしたい気持ちが育まれることを願って活動しています。</p> <p><過去の活動実績></p> <p>2018年度 支援数 101 支援対象人数(延べ)7,071人 2019年度 支援数 96 支援対象人数(延べ)7,254人 2020年度 支援数 42 支援対象人数(延べ)2,931人 2021年度 支援数 28 支援対象人数(延べ)1,710人 2022年度 支援数 42 支援対象人数(延べ)2,808人 2023年度 支援数 42 支援対象人数(延べ)3,066人</p>

団体名	日野の自然を守る会
代表者名	会長 山本 浩
連絡方法	事務局 〒191-0062 日野市多摩平 3-12-2(江面方) TEL:042-583-6808 E-mail:mamorukai-info@hinonoshizen.sakura.ne.jp
団体案内 (目的・趣旨)	本会は「日野の自然」を守り、市民の間に自然尊重の心を養い、その保全と復元に努力し、人間性豊かな社会の発展に寄与することを目的とする。(会則第三条 目的) 活動内容としては、本会の目的を達成するため、自然保護に関する啓蒙普及、自然観察会、研究会等の実施や、会誌の発行やその他の出版物の発行、調査・研究などを行っている。
設立年	1972年
主な活動内容	鳥類観察会として「より鳥みどり観察会」。昆虫観察会として「楽しい昆虫ウォッチング」。植物観察会として「やさしい植物観察会」の自然観察会を主に行う。その他、地質・地形の観察会として「地球の窓シリーズ」や、近隣の公園緑地を訪ねる行事や、「中央線沿線ウォッチング」「奥武蔵ウォッチング」など近隣の低山の自然環境の観察などを行っている。 また、環境共生部と定期的な話し合いの場を持ち、環境保全についての意見交換も行っている他、国土交通省に働きかけて、浅川の生態系保持空間の外来種シナダレスズメガヤの伐根など環境保全に取り組んでいる。 その他、「大木島自然公園」の野草園を中心とした管理作業を月2回のペースで実施している。
主なフィールド	日野市内を主に、隣接する市や近県
活動日	観察会は毎週土曜日曜および祝日。大木島自然公園の保全作業は第2・第4月曜の月2回
会員数	104名(2025年4月1日現在)
募集	随時
その他	年会費 3,000 円(入会金 1,000 円) WEB 会員年会費 1,000 円
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	当会ホームページ http://hinonoshizen.sakura.ne.jp 会誌「日野の自然」毎月1日発行(会員に送付) 2024 年度年間行事は別紙による

2024 年度行事実績一覧

区分	日程	行事名	参加人数	備考
観察会	◎印は当初計画になかったもの			
1	4月6日	やさしい植物ウォッチング「高尾山のスマレ」	15	
2	4月20日	多摩川・浅川クリーン作戦(日野市主催)	2	
3	4月29日	より鳥みどり観察会「南平丘陵公園・新緑の雑木林で渡り途中の夏鳥を探す」	30	
4	5月4日	楽しい昆虫ウォッチング「生きている化石・ムカントンボと春の昆虫を観る」	10	
5	5月6日	地球の窓シリーズ「御殿峠れき層 No.4」	18	
6	5月25日	中央線沿線ウォッチング「笹子駅・甲州街道を歩く」	13	
7	6月1日	楽しい昆虫ウォッチング「多摩川河川敷で、ウラゴマダラシジミほか、河川敷特有の昆虫たちを観る」	6	
8	6月2日	より鳥みどり観察会「ツバメと浅川の夏鳥」	0	中止
9	6月8日	八王子市の公園緑地を訪ねる「鹿島・松ヶ谷探検ウォーキング」	24	
10	6月15日	やさしい植物ウォッチング「多摩川の生態系保持空間」	15	
11	6月22日	楽しい昆虫ウォッチング「雑木林の長と初夏の昆虫たちを観て、手すりの昆虫を探す」	8	
12	7月8日	ワンドの草刈り	0	猛暑中止
13	7月13日	中央線沿線ウォッチング「大月駅・甲州街道を歩く No.19」	8	
14	8月31日	中央線沿線ウォッチング「立会川駅・東海道を歩く No.4」	0	中止
15	9月7日	楽しい昆虫ウォッチング「秋の夜長に鳴く虫の女王のカンタンの音を聴く」	7	
16	9月14日	中央線沿線ウォッチング「四ツ谷駅・甲州街道を歩く No.20」	11	
◎17	9月23日	ミニ観察会「大木島自然公園でヒガンバナと秋の野草観察」	15	
18	9月29日	より鳥みどり観察会「高尾山(ケーブルカー 駅付近)で鷹の渡りを観る会」	26	
19	10月14日	地球の窓シリーズ「秋川渓谷の地質をさぐる」	13	
20	11月4日	やさしい植物ウォッチング「羽村のカワラノギク」	16	
21	11月17日	より鳥みどり観察会「秋の浅川の身近な野鳥たち」	31	
22	11月24日	八王子市の公園緑地を訪ねる「堀之内探検ウォーキング～秋の宮嶽谷戸～」	15	
23	12月14日	楽しい昆虫ウォッチング「八王子城跡山麓でオオムラサキの幼虫と冬の妖精・フコシヤクガを探す」	0	中止
24	12月15日	より鳥みどり観察会「バードウォーク 2024(滝山城址・高月水田)」	15	
25	12月21日	中央線沿線ウォッチング「立会川・東海道を歩く No.4」	12	
26	1月12日	より鳥みどり観察会「黒川ニューイヤーカウント 2025」	24	
27	1月25日	中央線沿線ウォッチング「新宿駅・甲州街道を歩く No.21」	12	
28	2月2日	より鳥みどり観察会「多摩川の水鳥たち(多摩川・谷内川合流点～立日橋・日野橋)」	0	中止
29	2月16日	より鳥みどり観察会「多摩丘陵の冬の野鳥と生き物たちの冬越し」	19	
30	2月24日	地球の窓シリーズ「北・南浅川の合流点でメタセコイアを」	22	
◎31	2月24日	ミニ観察会「大木島自然公園で冬の野鳥観察」	13	
32	3月15日	八王子市の公園緑地を訪ねる「長池公園から鶴見川源流域～大栗川と鶴見川水系の源流域を見る」	20	
33	3月16日	より鳥みどり観察会「多摩川・浅川合流点付近:渡り前の冬鳥達と河原の春」	0	中止
34	3月22日	楽しい昆虫ウォッチング「幻のタマムシ・クロチビタマムシとウスバシロチョウの幼虫を探す」	8	
35	3月29日	やさしい植物ウォッチング「小野路の春」	0	中止
		観察会参加者合計	428	
特別行事				
1	5月11日	第3回定期総会	10	
2	1月11日	2025年新春行事	0	中止
		特別行事参加者合計	10	
大木島自然公園管理作業(毎月2回実施)				
		毎月第2月曜日、第4月曜日に作業	232	
		全行事参加者数	670	
カワセミハウス協議会環境分科会協力行事				
	8月4日	環境分科会主催「川の生き物をさがそう」	22	(参考値)
	8月18日	環境分科会主催「藍の生薬で型染めをしよう」	21	(参考値)

団体名	ひの・まちの生ごみを考える会
代表者名	近藤 知子
連絡方法	TEL: 日野市ごみゼロ推進課 042-581-0444 E-mail: ひの・まちの生ごみを考える会メール info@namagomi-heraso.com
団体案内 (目的・趣旨)	焼却生ごみの減量とたい肥化を広めるため、日野市ごみゼロ推進課と共働で 20 年以上活動。未来のための焼却生ごみ減量のあり方、方向性を勉強を重ねながら模索しつつ、市民や若い世代への啓発活動も積極的に行っています。 姉妹活動として「生ごみリサイクルサポーター」、「せせらぎ農園・まちの生ごみ活かし隊」(下記参照)
設立年	2002年
主な活動内容	<p>《ひの・まちの生ごみを考える会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第4金曜日定例会の開催 ・ダンボールコンポスト使い方講習 ・花壇プロジェクト(生活保健センター、カワセミハウス) ・各種イベントでのPR活動 ・ごみ減量施設などの見学勉強会 ・講師を招き毎年 1 回の講演会開催 <p>《生ごみリサイクルサポーター》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールコンポスト使い方対面講習会(年 4 回)・イベントでの展示・普及PR活動 <p>《まちの生ごみ活かし隊》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの地域循環型を目指して 2006 年5月に発足。2008 年に実践実験の場としてコミュニティ農園「せせらぎ農園」を開設。近隣約 200 世帯の生ごみ回収、土ごと発酵・堆肥化を経て、現在は生ごみ持ち込み式で約 60 世帯の生ごみと竹チップ、落ち葉を混ぜて約 3 か月で完熟たい肥を作り、畑で野菜や花を栽培し循環生活を楽しんでいます。
主なフィールド	ひの市民活動支援センター
活動日	毎月第 4 金曜日定例会 午後 2 時～午後 4 時
会員数	11 人 + 日野市ごみゼロ推進課職員
募集	随時
その他	ホームページ https://www.namagomi-heraso.com/



団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<p style="text-align: center;">～人生 100 年時代 捨てない暮らしを始めませんか～</p> <p>生ごみは燃やさなくても処理できて、しかも野菜を育てるのに欠かせない 良質なたい肥となるすばらしい資源！</p> <p>ダンボールコンポストについてはもちろん、環境保全や地域循環、家庭菜園について 興味のある方、勉強したい方、私たちと一緒に活動しませんか？</p> <p>定例会やコミュニティ農園「せせらぎ農園」もいつでも見学、体験大歓迎！</p> <p>ご連絡のうえ、気軽に遊びに来てくださいね♪</p>

団体名	日野みどりの推進委員会
代表者名	立川 絹代
連絡方法	日野市緑と清流課 公園緑政係 TEL:042-514-8307
団体案内 (目的・趣旨)	1.東京都が設立した市民参加・緑地保護監視組織「東京都緑の監視員」制度の日野地区会が当初の組織。 2.途中から名称が「東京都緑の推進委員」になり、平成14年3月との組織改革に伴いこの制度は廃止になった。 3.日野地区会はボランティアとして名称を「日野みどりの推進委員会」に変更し市内の公園緑地、雑木林を拠点に、市民の公園利用 PR を目的に自然観察会等を実施している。
設立年	1974年、現行団体名は2002年から。
主な活動内容	自然観察会年8回(4、5、7、10、11、12、翌年2、3月) 市民向けに市内の公園緑地、雑木林の季節ごとの自然を案内している。 活動内容(2024年度) 4月 自然観察会 多摩動物公園駅～明星大学裏～高幡台団地第2緑地～高幡台団地バス停(春の草花や新緑の木々の観察) 5月 自然観察会 豊田駅北口～黒川清流公園(新緑の黒川清流公園を散策) 7月 昆虫観察会 南平丘陵公園(親子で夜の雑木林を探検しよう)講師 川那部真氏 10月 自然観察会 東光寺緑地 諸事情により中止 11月 自然観察会 百草地区 諸事情により中止 12月 講習会(自然の木の実でクズの蔓でリース作り) 会場 カワセミハウス 2月 自然観察会 南平丘陵公園(春を待つ雑木林と冬芽の姿) 3月 自然観察会 神明上第3緑地～中央公園(宝泉寺緑地のカタクリと早春の草花)
主なフィールド	主に市内の公園緑地と雑木林、近辺の公園緑地
活動日	主に第4土曜日(変わる場合も有り)
会員数	メンバー6名 年間参加者 150～200名(年齢層 幼児～成人)
募集	メンバーの募集 自薦 他薦 観察会参加者の募集 市広報
その他	

団体名	みずとくらす・ひの
代表者名	井上 博司
連絡方法	連絡先 三村 聡 E-mail : mimura6472@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	2013年度にスタートした「水辺のある風景日野 50 選プロジェクト」は、市民、行政職員、法政大学エコ地域デザイン研究所メンバーによるワーキンググループにより水辺の選定などを行いました。2015年にワーキンググループは市民団体「みずとくらす・ひの」として再スタートし、行政などと連携しながら水辺を後世に残すための活動を行なっています。
設立年	2016年
主な活動内容	「水辺のある風景日野 50 選」ガイドツアー 令和 6 年 5 月 18 日(土曜日) 【コース】 東豊田公園～浅川～上田用水取水口～豊田用水合流点～上田用水～上田梨園～金山神社～別府神社～根川合流点～万願寺駅解散。 令和 6 年 7 月 6 日開催水辺の 50 選ガイドツアーは中止しました 令和 6 年 9 月 28 日開催水辺の 50 選ガイドツアーは中止しました 令和 6 年 11 月 16 日(土曜日) 【コース】 駒形公園～新井用水親水路～大木鳥自然公園～土方歳三資料館～みなみほり遊歩道～とうかん森～万願寺駅解散 令和 7 年 1 月 18 日(土曜日) 【コース】 日野駅～坂下地藏～宝泉寺～神明第 3 緑地～駒止の松～大昌寺坂跡～神明社～神明上第 6 緑地～山下堀～谷仲山湧水～神明上第 6 緑地～黒川～日野バイパス～豊田用水～豊田東団地～日野市役所解散 令和 7 年 3 月 15 日(土曜日) 【コース】 豊田駅南口集合～平山橋～豊田用水～中央図書館下湧水群～旧豊田村地区～豊田若宮神社～善生寺～東豊田～豊田用水～黒川～日野市役所解散
主なフィールド	水辺のある風景日野 50 選
活動日	会議 偶数月第3金曜日、ガイドツアー 奇数月第3土曜日
会員数	10名
募集	随時
その他	

団体名	緑を愛する会 日野
代表者名	佐伯直俊
連絡方法	日野市緑と清流課(公園担当)経由でご連絡ください
団体案内 (目的・趣旨)	仲田の森蚕糸公園を中心に、関係団体と連携してよりよい日野の自然を100年後に残していくボランティア活動をしている。 自然は人の心のインフラ。そのインフラづくりを”人と自然の和”をテーマにご賛同頂ける方々と協力してつながって行く。
設立年	2005年
主な活動内容	1. 森のビオトープ(疑似里山)の管理 (水やり、草刈、枝おろし等) 2. 森のビオトープ前花壇の維持管理(植えつけ、水やり、草抜きほか) 3. 公園内の落ち葉を集めて堆肥づくり 4. 子どもたちへの夏の体験ボランティア提供 5. 市内緑地の廃素材(竹等)を使って見栄えよい公園整備 6. 公園内を流れる日野用水の管理(日野市用水守制度に登録)
主なフィールド	仲田の森蚕糸公園
活動日	不定期・相談の上随時
会員数	10名
募集	随時
その他	植えた植物が育って花咲く姿は感動しますよ。一緒に色々育てましょう。 工作が好きな方も募集してます。ちょっとすてきな公園整備にお力ください。
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<日々の活動について> ■フェイスブック 「緑を愛する会日野」で検索 ■X(旧ツイッター) 「緑を愛する会日野」で検索

<2024年度の活動実績>

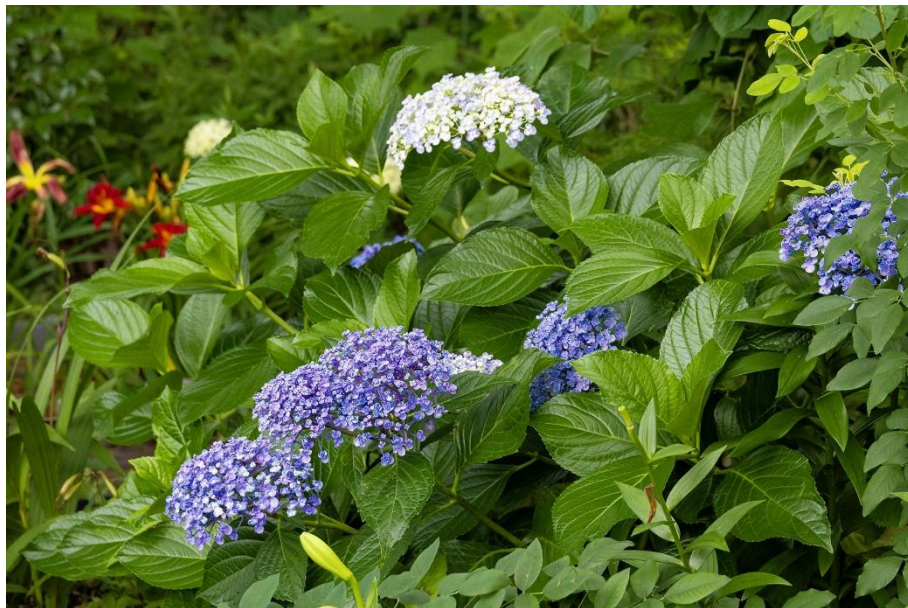
1. 花壇整備(枠作り、土搬入、堆肥・肥料投入)
2. 花壇に花木を植え付け
3. ビオトープ(疑似里山)の草刈、枝おろし
4. 歩行路とそうでないところの竹垣根づくり
5. 春夏秋冬の四季(植物・昆虫・小動物)を写真等で日付とともに記録、一部を SNS で公開
(長期的な記録でいずれ地球規模の環境変化が読み取れるようになると思われる)

<ビオトープ花壇の様子>



花壇は四季を感じる植物を中心に皆様が自然への興味や関心を持ってもらうための入口にしている

自由記載



団体名	向島の森をはぐくむ会
代表者名	笹木延吉
連絡方法	TEL:090-6029-1811
団体案内 (目的・趣旨)	日野市の数少ない貴重な平地林を、生物多様性を基本に考え、明るく健全な雑木林に管理し、子供たちが自由に遊べるスウェーデンの森を目指しています。
設立年	2023年
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○スウェーデンの森を目指した環境学習活動 ○雑木林の保全活動:刈払機による下草刈り、チェーンソーを使って枯れ木等の伐採作業 ○鎌や鋸を使って枯れ枝の処理や下草刈り ○野鳥等の定期的な観測 ○動植物の調査 ○子供たちへの環境学習
主なフィールド	向島緑地
活動日	毎月第4日曜日午前9時30分～正午まで
会員数	18名
募集	常時
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	個人所有の荒れた雑木林が隣接しているので、市に信託緑地の登録を要望している又、隣接の向島用水親水路に子供たちと米作りをするため田んぼを築造する事を、市に要望している。

～向島緑地の活動に向けて～

浅川潤徳水辺の楽校は、現在活動休止中ですが、向島用水敷きに**田んぼづくり**と**向島緑地をスウェーデンの森に！！**と市に要望書を提出し、活動計画を進めていたところ、雑木林の活動を模索していた市民団体「みどりワクワクチーム」と、それぞれの思惑が一致したため、**2023年9月24日**「スウェーデンの森」に造詣の深い下重喜代氏をお呼びして、現地で初の活動計画の話合いが、行われました。



スウェーデンの森に造詣の深い下重喜代氏（会員）と野鳥の専門家からのレクチャー

向島緑地を子供たちが自由に遊べるスウェーデンの森に

北欧の一国・スウェーデンの幼児教育は特徴的です。自然の中での遊びを通して、子どもたちの「創造力と想像力」「学ぶ意欲」、そして、これからの社会で不可欠となる「サステナビリティに対する意識」を育んでいます。

～向島緑地の整備が始まる～



向島緑地は30年以上放置されたままの状態、枯れ大木や鳥が運んできたと思われるシュロの大木？が30本以上もある荒れ果てた緑地でした。そこで**応援ボランティアを規約に持ち日野市では先進的な「南丘雑木林を愛する会」**に応援を依頼したところ、11月23日に10数名の会員がチェーンソーなどを巧みに使い30本以上のシュロの大木を皆伐し園路に並べて完了



令和5年度の日野市雑木林ボランティア講座の卒業生が5人も入会してくれました。嬉しい出来事です!!



さっそく、習い覚えた刈払機でした草刈りの実習です。ボランティア講師の両ササキの指導のもと、みるみる上達しました。

団体名	谷中山緑地を守る会
代表者名	笹木延吉
連絡方法	事務局:佐々木 徹 TEL:080-5409-5207 Email:kaitakaken@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	谷中山緑地は、神明上土地区画整理事業により公有化された、主に日野台地の北斜面の雑木林です。しかし、その後人の手による管理がほとんどなされない状態が続き、貴重種の野草たちが細々と生育していました。そこでボランティア活動によりこれを明るく健全な雑木林として管理し、野草たちを保護育成し、この自然環境を市民の皆様に観ていただこうと「谷中山緑地を守る会」を立ち上げました。
設立年	2016年
主な活動内容	①雑木林の育成・維持・管理に関する作業 ②植生調査と植物の保護 ③カタクリ等の野草観察会の実施 ④環境学習の開催 ⑤他ボランティア団体との交流 ◎2024年度の活動概要 4月 第6-2緑地でホタル池の整備 5月 年次総会 6月 第5緑地の草刈り 7月 第6-1緑地の草刈り 8月 第3緑地の草刈り 9月 第6-1緑地の草刈り 10月 第6-1緑地の草刈り、萌芽更新、枯損木処理 11月 第3緑地のロープ柵補修、枯損木処理 12月 第6-1・6-2緑地で萌芽更新、枯損木処理 1月 第3緑地の落ち葉掻き(カタクリ開花準備) 2月 第6-1緑地の落ち葉掻き(カタクリ開花準備) 3月 第3緑地でカタクリ観察会準備 3月下旬 第3緑地でカタクリ観察会(10日間)
主なフィールド	谷中山緑地(神明上第3緑地、神明上第5緑地、神明上第6-1・6-2緑地)
活動日	毎月第3日曜日 9時半～15時ごろ(夏場は午前中)

会 員 数	13名(令和7年10月末現在)
募 集	随時
そ の 他	年会費2,000円(ボランティア保険料500円を含む、加入済の場合は1,500円)
団体の課題 (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 人員不足 <input type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input checked="" type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他()
自由記載	<p>今日までの私たちの地道な活動により、カタクリ、キツネノカミソリ、ニリンソウなどの大群落 が、また第6-2緑地ではハチオウジアザミもみられるようになりました。さらに第6-2緑地 の湧水付近では6月初旬ごろ淡いホタルの光を見ることができます。</p> <p>また、日野市と谷仲山緑地を守る会は谷仲山緑地等を市内に残された貴重な動植物の生育環 境が維持できる樹林地として位置づけ、カタクリ等希少生物の生育環境を維持・保全し、生物 多様性に配慮した活動を進めていくこととし、2022年に両者は「谷仲山緑地の管理・運営に 関するパートナーシップ協定」を締結しました。</p> <p>活動の様子</p> <p>伐採</p>  <p>粗朶の山</p>  <p>草刈り</p>  <p>合間の休み</p>  <p>貴重種を囲う</p>  <p>第5緑地に出てきたタヌキ</p> 

2章 幼稚園・保育園における環境への取組状況

この章では、幼稚園・保育園の環境への取組状況を紹介いたします。環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、市内幼稚園4園・市内保育園17園から回答が得られました。

番号	園名	取組分野						
		①地球温暖化 (緩和)	②地球温暖化 (適応)	③水	④みどり	⑤生き物	⑥ごみ	⑦その他 取組
1	第二幼稚園	○	○	○	○	○	○	○
2	第四幼稚園	○	○		○	○	○	○
3	第七幼稚園	○	○		○	○	○	
4	日野ふたば幼稚園	○	○		○		○	○
5	日野わかさ幼稚園			○	○	○	○	
6	あさひがおか保育園	○	○		○	○	○	○
7	あらい保育園	○	○	○	○	○	○	○
8	おおくぼ保育園	○	○	○	○	○	○	○
9	しんさかした保育園	○	○				○	○
10	至誠いしだ保育園		○		○	○	○	
11	たかはた北保育園	○	○	○	○	○	○	
12	たかはた台保育園	○	○		○		○	○
13	つくしんぼ保育園	○	○		○		○	
14	豊田保育園	○	○	○	○	○		
15	日野第二保育園	○	○				○	
16	ひらやま保育園	○	○		○	○	○	
17	ひよこハウス多摩平	○	○	○	○	○	○	
18	ひよこハウス豊田		○					
19	みさわ保育園	○	○	○	○	○	○	
20	みなみだいら保育園	○	○				○	
21	もぐさ台保育園	○	○		○	○	○	○
合計		18	20	8	17	14	19	9

園名	取組内容
第二幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ①④草花や野菜の栽培 ②日除けの設置 ②熱中症指数計を設置し、熱中症予防を呼び掛ける ③用水で季節の自然に触れる ④公園で季節の自然に触れる(春探し、どんぐり拾い等) ⑤青虫(蝶)、メダカなどの飼育 ⑥野菜くずを使った土作り ⑥廃材を活用した製作遊び ⑥紙のリサイクル ⑦水の使い方についての指導 ⑦電気のコマメな消灯
第四幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ①ごみゼロマンによる環境学習の実施 ②台風災害を想定した避難訓練、防災マップを使った緊急時の避難経路確認 ④地域の公園や田んぼなどに出向き、昆虫や植物など自然に親しめるような園外保育の実施 ⑤メダカ・ウサギの飼育 ⑤昆虫採取、飼育 ⑥ぼかし菌と野菜くずを活用した土作り、作った土を利用した野菜の栽培。収穫した野菜を家庭に持ち帰って家族で食してもらおう体験 ⑦家庭から持参したお菓子、料理などに関する空き箱を利用した廃材製作あそび ⑦段ボールなどを活用した教材作り ⑦コロナ禍で使用したパーティションをリユースした写真立ての制作
第七幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ①コマメな電気の消灯 ①効率的なエアコンの使用 ①ごみの分別と削減 ①⑥環境政策課による環境学習 ②避難訓練時に、いろいろな天候で起こり得る事象を知らせたり、避難の仕方を知らせたりしている ②熱中症計を用いた安全管理や、コマメな水分補給、園庭の木立の日陰を利用した遊び場選び ④公園や街路樹の木の実や落ち葉拾い。拾った自然物は製作や遊びに利用している ⑤園庭や園の畑で捕まえた昆虫の世話や観察 ⑥生ごみを利用した土作り ⑥遊びや製作の機会を利用して、ごみの分別やリサイクルの仕方などを知らせ、子ども自身が理解し実践できるような環境作り

日野ふたば幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ①②グリーンカーテンの設置 ①②園庭の芝生化 ②ミストシャワーの設置 ④農作物の栽培と収穫 ⑥ごみの分別 ⑦食べ残しを減らす ⑦電子化により紙媒体の書類を減らす
日野わかさ幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ③園庭から湧水が溢れ、小川が流れているので、その水を汲んだり、葉っぱを流したり、そこに生息しているサワガニを捕まえたりしている ④⑤真照寺の敷地である庭や山の樹木や竹、どんぐり等の木の実や筍、バッタやカマキリ、トンボや蝶々、カエルやトカゲ等の自然に直接、日常の保育の中でふれあっている ⑤山や庭の自然を活用した生物観察 ⑤カエル、カタツムリ、ザリガニの飼育 ⑥コンポストを園の農園で利用している
あさひがおか保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①②グリーンカーテンの設置 ②ミストシャワーの設置 ④公園などにある樹木や草花落ち葉を使ってオリエンテーリングや作品作り ⑤カブトムシやアオムシ等生き物の飼育 ⑥コンポストによる生ごみの削減 ⑦環境学習への参加 ⑦日々保育園で出来るエコ活動(節電、節水、リサイクル等)
あらい保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①④保育園の畑で夏野菜やジャガイモ、サツマイモの栽培 ②熱中症対策の呼びかけとミストシャワーの設置 ②ハザードマップの確認 ③④⑤散歩等で浅川の様子を観察、水辺の生き物についての観察を行ったりしている ④保育園の畑で獲れたサツマイモのツルと落ち葉やどんぐりを利用してのクリスマスツリー作り ⑥給食で出た野菜くずとぼかしを混ぜて土づくりをしている ⑦ごみの分別、エコアラ・エコクマによる環境学習への参加
おおくぼ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①グリーンカーテン、プールの残り水をまく等、気温が下がるようにしている ①遮光ネットを使用して日陰をつくり、室温が急激に上昇しないよう環境を整えている ②水遊び中に、シャワーミストを使用。また園庭を遮光ネットで覆い、暑さ・日光対策をとることで、テラスで火傷しないようにしている ③⑤黒川公園での水の触れ合い、園庭での虫探し、野鳥観察などを行っている ④⑥じゃがいも、さつまいも、夏野菜の栽培をして収穫している。また、ぼかしで土作りをしている ⑦多摩動物公園へ遠足に行っている

しんさかした保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①畑の野菜作り ①②グリーンカーテンの設置 ①プランターや花壇のお花設置 ②シャワーミストの使用 ②プール開催時に日陰を作る ②熱中症対策の呼びかけ ②適度な室温と水分補給 ⑥菌ちゃん(ぼかし)を使った土づくり ⑦ゴミの分別(子ども達へ伝えながら)
至誠いしだ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ②ミストシャワーの設置 ②ハザードマップの確認 ④農業体験 ④落ち葉や木の実を使った制作 ④⑤植物や生き物の観察 ⑤虫探し ⑥環境学習会でごみゼロマンに来てもらう
たかはた北保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①あつあつおばけの紙芝居を読み、地球温暖化について考える取り組みをした ①電気をこまめに消す。水を出しっぱなしにしない。ゴミの分別を学ぶなど ②高台の場所への避難訓練を実施 ③⑤浅川用水路を散歩、魚を観察。鴨やサギを見て日野の豊かな水を感じている ④公園にある葉やどんぐりを使っての制作など ⑥廃材を使い、子どもたちが楽しめるおもちゃづくり
たかはた台保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①②グリーンカーテンの設置 ②ミストシャワーの設置 ②こまめに水分補給をして、熱中症対策を呼びかけた ④公園や緑地に行って、どんぐりを集めておままごと等で遊ぶ。作品の制作に使用 ⑥給食で廃棄になった野菜くずを利用した、菌ちゃんの土作り ⑦市役所から配布されたブルーベリーの苗を育てて、ジャムづくりを楽しみおやつで食べた
つくしんぼ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①節電対策(電力デマンドの利用) ①エアコンの温度設定、トイレの電気は自動で点灯、消灯するようにしている ①園庭の畑にて野菜などの栽培、野菜くずによる堆肥作り ②熱中症対策の呼びかけ ②WBGT 測定器の活用 ②ハザードマップの確認、台風・水害を想定した訓練の実施 ④園庭の畑にて夏野菜、冬野菜、バケツ稲作りの栽培をしている ④近隣の畑でじゃがいも堀り体験、ミカン狩り体験を行っている ⑥ごみゼロマンに来園して頂き、ごみの分別、もったいない学習 ⑥野菜くずを利用した堆肥作り

豊田保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①太陽光発電の設置 ①エコアラ・エコクマ環境学習 ①④野菜の栽培活動 ①LED 照明器具使用 ①園舎周辺の植栽 ①水道の自動水栓(子ども用) ②熱中症指数を確認し活動の仕方を検討している ②ハザードマップの確認をし、避難訓練や災害時への備えをしている ②日よけの設置 ②水筒持参(幼児クラス) ③周辺の水路の観察 ④園の畑での栽培、収穫活動 そこで育てている木々の生長や実のなる様子などの観察 ④散歩時、周囲の自然に目を向け図鑑などで調べる ⑤戸外で出会う生き物の観察
日野第二保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①太陽光発電の活用 ②園庭やベランダ、屋上への打ち水 ⑥コンポストによる生ごみの減量及び園内畑での肥料としての活用
ひらやま保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①ゴーヤのグリーンカーテン ①エコクマ、エコアラによる環境学習 ②ミストシャワーの設置 ②洪水を想定した避難訓練 ②寒冷紗設置による日影作り ②ハザードマップの確認 ④ぼかしを使った土作り ④さつまいも、じゃがいも、夏野菜の栽培、みかんの収穫 ④河川敷の土手を利用したダンボール滑り ④公園や遊歩道での樹木の観察 ⑤バッタ取り、ダンゴムシの観察、青虫の飼育から蝶になるまでの観察 ⑤鴨、キジ、サギ、鯉、ツバメの観察 ⑥野菜クズを利用した土作り ⑥刈った草を樹木の根元に蒔くことによる堆肥作り

ひよこハウス多摩平	<ul style="list-style-type: none"> ①環境学習【エコアラ&エコクマ】出前授業を受け、環境・自分ができる CO₂ 削減方法について学ぶ ①⑥日野市環境学習会(出前授業)を受け、ごみゼロマンと楽しくごみの分別や「もったいない」など、ごみ減量を学ぶ ①②木々の木陰づくり ①②季節の植物や野菜の栽培 ②日よけタープの木陰づくり ②子供用スプリンクラーで涼をとる ②自由に水分補給ができる環境づくり ②熱中症対策を呼び掛ける ②ハザードマップの確認 ②風水害を想定した避難訓練と蓄電池などの備え ③⑤黒川清流公園で水の流れや川魚の観察 ④公園などにある樹木や虫の観察 ④さつまいも堀り体験 ④落ち葉や木の実、栽培した綿花を使った制作活動 ⑤親子で蚕の飼育観察 ⑤水辺に集う野鳥の観察 ⑥空き箱制作
ひよこハウス豊田	<ul style="list-style-type: none"> ②水分補給(室内・戸外) ②熱中症指数計を持参し戸外活動 ②熱中症の症状について対応を伝える ②非常食の備え(3~5日分)
みさわ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①使っていない部屋の電気を消す ①水を出しっぱなしにしない ②遮光カーテンの設置、ミストシャワー、打ち水(熱中症対策をした) ③散歩などに出かけ、水の流れ、水中の生き物の観察 ④近隣の畑で農園体験をしている ⑤散歩や農園体験を行い、生き物観察、植物観察をしている ⑥クリーンセンターの見学 ⑥ごみの分別削減
みなみだいら保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①夏野菜を育て、グリーンカーテンのようにした ②ミストシャワーを設置したり、こまめに水分をとるように声かけをした ⑥制作に使える箱や紙などはとっておき、必要な時に出して使った

もぐさ台保育園	<ul style="list-style-type: none"> ①花壇での植物を育てる、省エネを心がける(こまめに電気を消すことや冷暖房の温度設定に気をつけるなど) ②暑さ指数計の計測実施、園庭に日よけネット設置、ミストシャワーの設置、備蓄品の確保、ハザードマップの掲示 ④近隣の緑地や公園に散歩または遠足の実施、落ち葉を使った製作 ⑤⑥畑の土作り、廃材を使った製作 ⑦環境学習(エコクマエコアラ)の実施
---------	--

3章 小学校・中学校における環境への取組状況

この章では、小学校・中学校の環境への取組状況を紹介いたします。環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、市内小・中学校 25 校から回答が得られました。

番号	学校名	取組分野						
		①地球温暖化 (緩和)	②地球温暖化 (適応)	③水	④みどり	⑤生き物	⑥ごみ	⑦その他 取組
1	日野第一小学校	○	○		○		○	
2	豊田小学校	○	○		○		○	
3	日野第三小学校		○		○	○	○	
4	日野第四小学校	○			○			
5	日野第五小学校	○	○		○	○	○	○
6	日野第六小学校	○	○		○	○		○
7	潤徳小学校	○	○	○	○	○	○	○
8	平山小学校		○	○	○		○	
9	日野第八小学校	○	○	○	○	○		○
10	滝合小学校	○	○	○	○	○	○	○
11	日野第七小学校		○	○	○	○		○
12	南平小学校	○	○	○	○		○	
13	旭が丘小学校	○	○		○	○	○	○
14	東光寺小学校	○	○	○	○	○	○	○
15	仲田小学校	○	○	○	○	○	○	○
16	夢が丘小学校		○	○			○	○
17	七生緑小学校	○	○		○	○		○
18	日野第一中学校	○	○				○	○
19	日野第二中学校	○	○					○
20	七生中学校	○	○					
21	日野第三中学校		○				○	○
22	日野第四中学校	○	○					
23	三沢中学校	○						○
24	大坂上中学校	○	○				○	○
25	平山中学校	○	○			○	○	
合計		20	23	9	16	12	16	16

学校名	取組内容
日野第一小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①裏紙の使用、ゴミの分別、電気・水道の節約等 ②熱中症について毎年学級指導している ②避難訓練に洪水を想定した訓練を取り入れている ④生活科見学 ⑥クリーンセンターの見学
豊田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①社会科や理科の学習と絡めて、地球温暖化に伴う自分たちの生活への影響について調べる ②熱中症対策をよびかける ②ハザードマップの確認 ④自然教育林(第二校庭)を活用して、地域の方の協力を得ながら稲作活動に取り組んでいる ⑥クリーンセンターの見学 ⑥ごみ減量ポスターへの応募
日野第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ②ミストシャワーの設置、暑さ指数計の設置 ④農業体験(米づくり、梨園見学) ⑤ビオトープの観察、ウサギ・メダカの飼育 ⑥クリーンセンターの見学 ⑥テトラパックの回収
日野第四小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①社会科の授業や総合的な学習の時間、マイプランスクール等での学びや実践 ④地域の田んぼを利用した稲づくり(5年生)
日野第五小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①節電の励行・LED照明への切り替え ①②グリーンカーテンの設置 ②暑さ指数を1時間ごとに計測し水分補給や外での活動の制限などと呼びかける ②災害に備えた学習(マイタイムライン) ④生活科で公園を使用しての学習・稲作体験 ⑤郷土資料館での見学を通して日野の生き物について知見を深めた ⑥クリーンセンターの見学 ⑦ユニセフ募金の取り組み・ユニクロ 服のカププロジェクト
日野第六小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①②グリーンカーテンの設置 ②熱中症対策 ④⑦植物を植える ④⑤公園内の植物、昆虫などの生き物の観察 ⑤おたまが池を活用した学習 ⑦ユニセフ募金

潤徳小学校	<p>①HTT の推進</p> <p>①総合的な学習に時間における SDGsに関する調べ活動</p> <p>①エコキングの取組の推進</p> <p>②温暖化をはじめとした地球環境に関する社会科や理科の学習</p> <p>②ツルレイシの栽培によるグリーンカーテンの設置</p> <p>②日常的な熱中症防止対策の指導</p> <p>②ミストシャワーの設置</p> <p>②4年生社会科でのハザードマップの確認の学習</p> <p>③「流れる水のはたらき」(理科)の実地学習</p> <p>③水車小屋を活用した精米作業の体験</p> <p>④学区内の公園などにある樹木の観察や落ち葉等の採集</p> <p>④採集物を通した図工の作品作り</p> <p>④学区内の畑、果樹園等の訪問を通した3年生社会科の学習</p> <p>⑤浅川での野鳥観察</p> <p>⑤浅川での「ガサガサ体験」の実施</p> <p>⑤浅川河川敷での昆虫採集(理科、生活科)</p> <p>⑤向島用水での生き物探し(2年生 生活科、クラブ活動)</p> <p>⑥クリーンセンターの見学</p> <p>⑥ごみ減量ポスターへの応募</p> <p>⑥ペットボトルキャップ・テトラパック・インクカートリッジの回収</p> <p>⑦ユニセフ募金の協力</p> <p>⑦全校朝会でのフードバンクの紹介</p> <p>⑦委員会活動での節水等のポスター作成</p>
平山小学校	<p>②昇降口にミストシャワーの設置</p> <p>②日々の WBGT の測定による校外活動の可否の判断、水筒と帽子持参の励行</p> <p>③浅川のガサガサ体験</p> <p>④水田で古代米づくり</p> <p>⑥委員会活動による沢田公園のゴミ拾いや裏紙の再利用呼びかけ</p>
日野第八小学校	<p>①②④ESD ミーティング(SDGsに関する児童の実践を発表し、意見交換を行う学校行事)</p> <p>①②総合的な学習の時間(5年 私たちの環境を守ろう)</p> <p>②ミストシャワーの設置</p> <p>③第1・2学年生活科「レッツゴー 浅川」(四季を通して浅川に行き、異学年交流をしながら様々な活動を行う)</p> <p>④せせらぎ農園での体験活動</p> <p>④総合的な学習の時間(3・4年地域のためにできること)</p> <p>④⑤ビオトープの活用</p> <p>⑤メダカの飼育</p> <p>⑦ユニセフ募金や緑の羽根募金活動</p> <p>⑦環境委員会による活動(節水・節電 他)</p> <p>⑦残菜を減らす活動(栄養士・調理場との連携)</p>

<p>滝合小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①気温の急上昇を防ぐ校庭芝生 ①井戸水を使ったビオトープや田畑の活用 ①エコアクション(環境負荷・環境問題に触れ、考え、実践することにより、環境意識を高め、環境にやさしい学校づくりを行うことを目的とする活動) ②熱中症の対策を呼び掛ける ②ミストシャワーの設置 ②ハザードマップの確認 ③流木や小石を使ったオブジェづくり ③浅川でのガサガサ体験・理科の観察(流れる水のはたらき) ④農業体験や農場見学 ④公園などにある樹木の観察(四季を感じよう) ④落ち葉を使った図工作品(立体画、お面、リース、オブジェなど) ⑤ビオトープを活用した生き物観察(メダカ・カダヤシ・アメリカザリガニ・エビ・カエル・サギなど) ⑤ビオトープでの浅川再現(進行中) ⑤ウサギの飼育・観察(自由研究を含む) ⑤企業と共同した環境整備(ビオトープや芝生) ⑤校内樹木マップやどんぐり・まつぼっくりマップづくり ⑤日光移動教室や八ヶ岳移動教室の学習内で日野の自然や生物を調べ、他の地域との比較を行った ⑥クリーンセンターの見学 ⑥ごみ減量ポスターへの応募 ⑥コンポストによる土づくり ⑥伐採した木材を活用したブローチづくりやトーチ作り(芝生活用イベント) ⑥空き箱等を活用した引き出しづくりや児童の作品作り ⑦ユニセフの募金 ⑦浅川のごみ拾い活動など地域のイベントへの参加(希望者) ⑦畑や田んぼでの収穫物を給食で提供(食育) ⑦ペットボトルキャップの回収 ⑦牛乳パック・テトラパック・インクカートリッジの回収 ⑦ごみの分別
<p>日野第七小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ②熱中症対策を呼び掛ける ③黒川清流公園での昆虫や自然(川)とのふれあい ④公園での昆虫や自然とのふれあい ④どんぐりクラブさんからお話を聞く ④農家さんの協力を得て、農業体験 ⑤公園や学校でどんぐりクラブさんの話を聞く ⑤セミやヤゴを育てる ⑦SDGs を呼び掛ける。授業等で SDGsにかかわる内容であったときに、SDGs にふれるようにしている

南平小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①SDGsに関する学習の中で、地球温暖化について調べ学習を行っている ②ミストシャワーの設置 ③川の生き物探し ④敷地内の田んぼで米作りを行っている ⑥クリーンセンターの見学
旭が丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①エアコンの設定温度を低くしすぎず、扇風機と併用する ②ミストシャワーの設置 ②熱中症対策のよびかけ ②暑さ指数の定期計測 ④さつまいも、大根の栽培・収穫 ④水田による米栽培 ④⑤校内の雑木林を活用した学習 ⑤ウサギの飼育 ⑥クリーンセンター見学 ⑥エコチャレンジによるごみの分別、再利用 ⑦ユニセフ募金 ⑦委員会活動による紙のリサイクル活動
東光寺小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①校庭の芝生化 ②ミストシャワー ②熱中症対策の取組 ③⑤用水調べ、用水遊び ④稲作体験 ④公園遊び ④東光寺大根を育て、たくあん作り ⑥クリーンセンター見学 ⑦ユニセフ募金
仲田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①生活科や理科の学習で植物や野菜を育てる ①総合で SDGs について学び、日頃から電気をこまめに消すなどのことを意識している ②体育の時間を早い時間にする、水分補給の促し、帽子の着用の呼びかけなどの熱中症対策 ②避難訓練や安全指導にて、台風などの災害への備えや避難の方法について話し合った ③⑤用水の生き物調べ ④公園探検・町探検・生き物の観察・フィールドワーク・自然調査・田植え・稲刈り ⑤校庭や公園、用水の生き物探しと観察 ⑤在来種と外来種がどれほどいるかの調査 ⑥クリーンセンターの方にインタビューをして、日野のごみについて教えていただいた ⑦フードロスについて調べ、自分たちにできることを考えている ⑦レンタサイクルを推進する方法を考えている

夢が丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> ②熱中症対策の呼びかけ ③水道キャラバン ⑥水再生センター・クリーンセンターの見学 ⑥ごみ減量ポスターの応募(有志) ⑦ユニセフ募金
七生緑小学校	<ul style="list-style-type: none"> ①②ミストシャワーの設置、スプリンクラーの散布 ④公園での樹木観察、落ち葉や木の実を利用したリースづくり ⑤教室でのメダカ等の生き物観察、近隣公園での生き物観察 ⑦ユニセフ募金、ペットボトルキャップなどの廃品回収による PTA 会費の計上
日野第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①地球温暖化について、授業で学習している ②熱中症対策として、WGBT を計測して活動を行っている ⑥リサイクルボックスを設置して、ごみを分別している ⑦紙を使った配布物をほぼ無くし、データで行っている ⑦ユニセフ募金を行っている
日野第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①再生可能エネルギー由来の電力を使用している ①「アイシティ eco プロジェクト」に取り組んでいる ②熱中症対策の呼びかけ、ミストシャワーの設置 ⑦落ち葉掃きボランティア
七生中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①教職員のクールビズを推進し、エアコンの設定温度を夏は28℃を目標に設定する ②熱中症の予防について、保健委員会を中心に校内への呼びかけ・注意喚起を行っている
日野第三中学校	<ul style="list-style-type: none"> ②熱中症対策の呼びかけ ⑥ごみの分別 ⑦ユニセフ募金
日野第四中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①エアコンや照明のスイッチをこまめに管理、水道の無駄遣いをしないなど、節電や節水の取組を行っている ②熱中症予防や災害への備えについて、生徒に安全指導を計画的に実施している
三沢中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①グリーンカーテンの設置 ⑦ユニセフへの募金
大坂上中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①教科で地球温暖化、気候変動、省エネなどの学習を行っている ②ミストシャワーの設置、熱中症対策の呼びかけ ⑥授業で取り扱っている ⑦コンタクトケース回収
平山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ①⑥ごみの減量、分別、リサイクルの促進 ②熱中症対策を呼びかけ、予防に努めた ⑤メダカの育成(理科) ⑥コンポストの取り組み



4章 高校における環境への取組状況

この章では、高校の環境への取組状況を紹介します。環境への取組の実施状況についてアンケートを実施し、高校2校よりアンケートの回答が得られました。

番号	学校名	取組分野						
		①地球温暖化 (緩和)	②地球温暖化 (適応)	③水	④みどり	⑤生き物	⑥ごみ	⑦その他 取組
1	日野台高校	○	○					
2	日野高校	○	○	○	○	○	○	○
合計		2	2	1	1	1	1	1

学校名	取組内容
日野台高校	①地理等の授業での温暖化についての学習。総合的な探究の時間において、個人、グループによっては、温暖化をテーマとした探究活動 ②熱中症対策として、部活動の部長などを対象とした講習会の実施
日野高校	①理科、保健、家庭科を中心に授業で学んでいる ②屋外運動施設にテントを設置 ②ミスト発生装置の設置 ③④写真部が被写体として活用 ④科学部を中心にフィールドワークで活用 ⑤校庭に現れた蛇の飼育 ⑥クリーンセンターとの交流、見学 ⑥保健、家庭科の授業での学習 ⑦浅川清流環境組合との交流 ⑦フードバンクへの協力

この章では、掲載の協力を得られた事業者の環境への取組を紹介いたします。

【会社名】 東京ガス（株）地域共創カンパニー 東京西支店 環境への取組

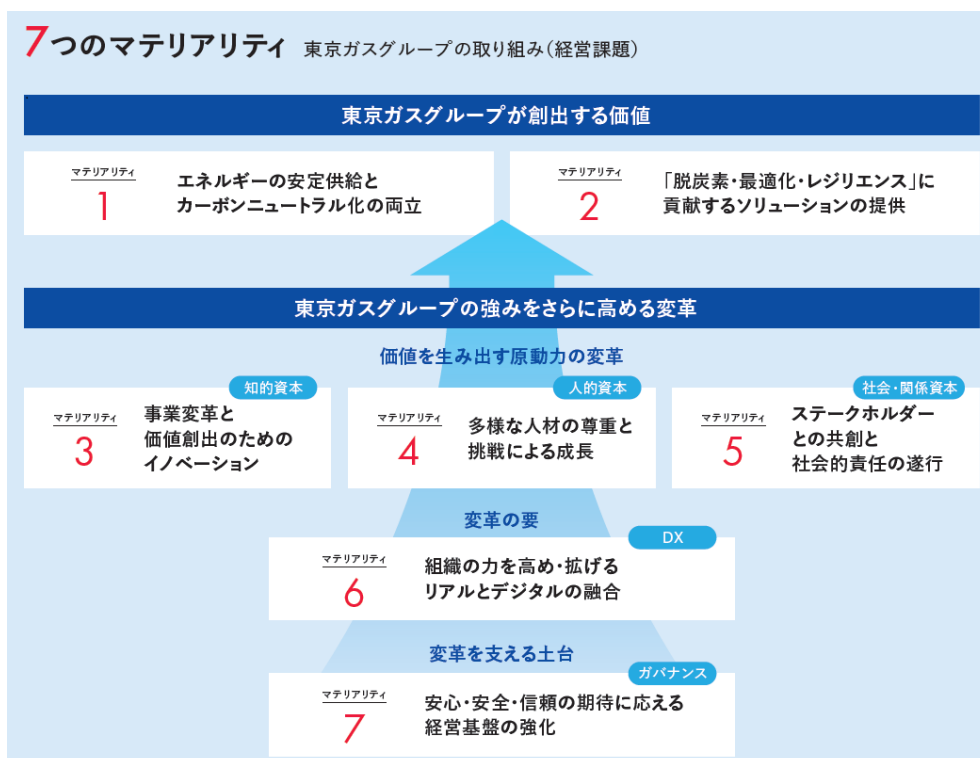
〒190-0012 立川市曙町 3-6-13 (042-526-6125)

東京ガスは創業 140 周年の節目を迎えました。社会課題が複雑化し、世界情勢が変わりゆく中においても、創業以来培ってきた「安心・安全・信頼」を大切にしながら「人によりそい、社会をささえ、未来をつむぐエネルギーになる」という経営理念のもと、私たち自身も変革し、お客さまや社会の期待に応え、その期待を超えられるよう新たな挑戦を続けます。そのような思いのもと、当社グループは、2025 年、マテリアリティを改定しました。

【新マテリアリティ】

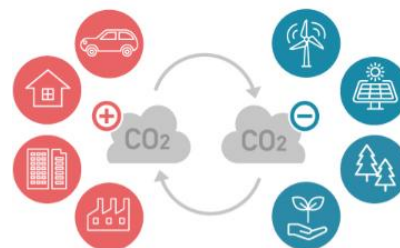
当社グループは、マテリアリティを事業活動と一体化させることに注力し、事業成長と社会課題解決の両立を目指して運用してきました。

今回、その方向性を強化すべく、マテリアリティを「経営理念を体現し、社会課題を解決するために必要な東京ガスグループの取り組み」と再定義。特定したマテリアリティは、東京ガスグループが創出する価値（マテリアリティ1・2）、そのために東京ガスグループの強みをさらに高める変革（マテリアリティ3～7）として、構造化して表現しました（下図参照）。マテリアリティを中期経営計画等の経営戦略や事業活動へ一層つなげていくことを目指しています。

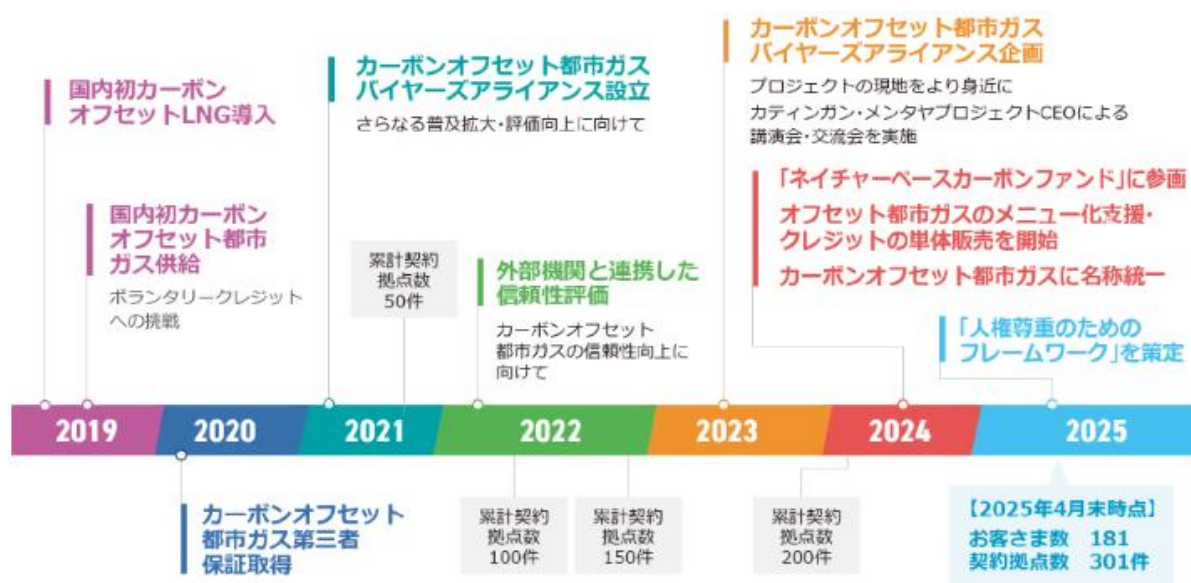


1. カーボンオフセットに関する取組み

東京ガスグループは、熱の脱炭素化手段として、カーボンオフセット都市ガスの供給を始めとし、カーボンオフセットの拡大に貢献しております。カーボンオフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、カーボンクレジット等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることで、主体的な削減活動の促進・気運醸成に加えて、温室効果ガスの排出削減・除去プロジェクトへの資金還流、地域活性化及び持続可能な発展への貢献が期待されます。



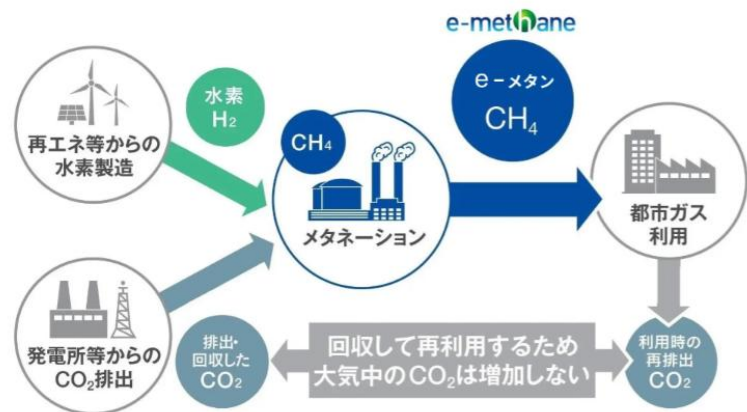
当社グループは 2019 年 6 月に国内で初めて、ボランタリーカーボンクレジットを活用したカーボンオフセット LNG を調達し、同年 10 月には初めて、カーボンオフセット都市ガスとしてお客さまに供給を開始しました。カーボンオフセット都市ガスの導入は、足下で取り得る熱の脱炭素化に資する手段としてニーズが高く、カーボンオフセットの拡大に貢献しています。



2. e-メタン・バイオメタンの取り組み

e-methane(以下、e-メタン)

とはメタネーションにより製造しますが、メタネーションとは原料である水素とCO₂を化学反応させることで都市ガスの主成分であるメタンを合成する技術です。e-メタンの製造にあたっては排気ガス等から回収したCO₂を原料として再利用するため、燃焼時にCO₂を排出しても実質的には大気中のCO₂は増えません。また、もうひとつの原料である水素については再生可能エネルギー等を利用して製造することによりe-メタンはカーボンニュートラルなエネルギーと言えます。



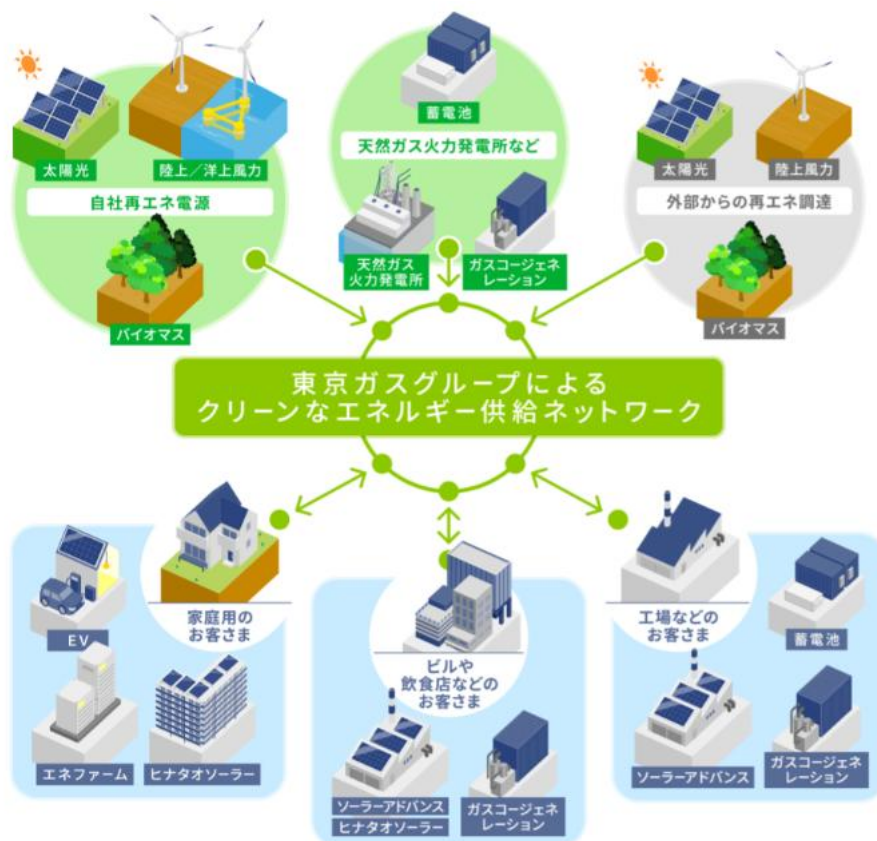
バイオメタンとは、食物残渣など有機物を原材料とするメタンガスのことです。本来であれば大気に放出されるメタンを回収しているため、利用時はCO₂排出ゼロとみなすことができます。



e-メタン・バイオメタンの成分は都市ガスと同じで、既存の流通網やガス機器を利用できます。お客さまにとっても機器交換等の投資が発生せず、経済的かつスムーズな活用が可能です。東京ガスは、北米等を中心に、パートナー企業と連携し、e-メタンやバイオメタン製造・供給体制の構築に取り組んでいます。

3. 再生可能エネルギー事業の取り組み

東京ガスグループはCO₂ネット・ゼロのリードを掲げ、その挑戦の1つとして再生可能エネルギー事業に取り組んでいます。当社グループの再生可能エネルギー事業は、日本全国・海外における太陽光、風力、バイオマスなどの電源開発のほか、再生可能エネルギー電力の調達を行っております。脱炭素社会の実現に向け、発電出力の変動幅の大きい再生可能エネルギー電源と、天然ガス火力発電所などの調整力を組み合わせ、安定的かつ低廉な電力をお客さまにお届けしていきます。



当社グループの再生可能エネルギー事業は、発電所の開発、運営・メンテナンス、再生可能エネルギー由来の非化石価値と組み合わせた電気の提供、お客さまの電気の自給自足や地域の電気の地産地消に向けたソリューションサービスなど、多岐に渡っています。



再生エネルギー開発



操業・メンテナンス



再生エネルギー供給



再生エネルギーソリューションサービス

4. 次世代教育支援活動



東京ガスでは、20年以上にわたり次世代教育支援活動に取り組んでいます。

社員による、エネルギーや環境に関する出前授業を実施する他、Web サイトには講義内容も掲載し、2025年3月末時点での累計受講児童生徒数は120万人以上となりました。また先生方を対象とした教員向け研修会も実施し、学習プランに活用できる情報を、施設見学やグループワークを通じて提供することで、未来を担う子どもたちにエネルギーと環境の大切さを伝えています。

5. 地元木材の利活用を通じた「CARBON STOCK FURNITURE、CARBON STOCK GIFT」

■CARBON STOCK FURNITURE

“都市を森林の貯蔵庫に還す”ことがコンセプト CO₂を固定した木材を使用し、CO₂の総量と木材の産地を印字した家具プロダクト

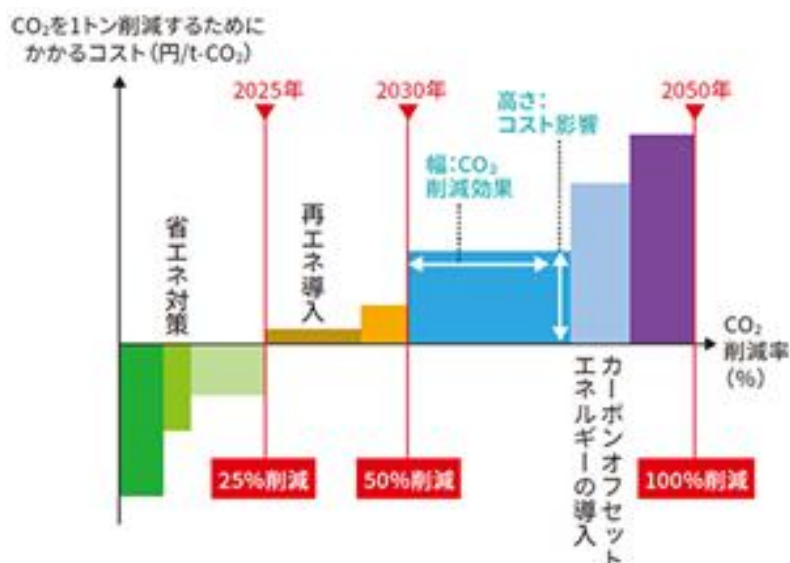
■CARBON STOCK GIFT

地域木材を使用した木のおもちゃを出産祝いの記念品やイベントのノベルティとして活用。住民・事業者のみなさまへの環境啓発・地域活性化へ森林環境譲与税の有効的な使途としてもご活用可能に



6. CN チャート（カーボンニュートラルチャート） ※自治体向けソリューション

公共施設の CO₂ 削減のために実施しており、日野市と共同で公共施設の CO₂ 削減のために実施



引用元

- ※ 東京ガスの次世代教育支援活動
<https://www.tokyo-gas.co.jp/kids/index.html>
- ※ 東京ガスのサステナビリティ
<https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/policy/index.html#anc-materiality>
- ※ 東京ガスの取り組み
<https://www.tokyo-gas.co.jp/sustainability/activities/carbonoffsetting.html>
<https://www.tokyo-gas.co.jp/e-methane/basic/index.html>
<https://www.tokyo-gas.co.jp/e-methane/rng/index.html>
<https://www.tokyo-gas.co.jp/renewableenergy/index.html>
- ※ 事業紹介 地域共創カンパニー
<https://www.tokyo-gas.co.jp/business/co-creation/index.html>

6. 日野市と東京ガス(株)包括連携協定



左から、東京ガス：岡村優子東京西支店長(当時)、日野市：大坪冬彦市長(当時)、東京ガス：小西雅子常務執行役員

1. カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定締結

日野市は、内閣府により東京都で初めて「SDGs 未来都市」に選定され、「プラスチック・スマート宣言」や「気候非常事態宣言」の発出、今年度は多摩動物公園と「環境・SDGs に関するパートナーシップ協定」を締結し、これまでも環境対策に向けた取組を推進してきました。

本協定は、そうした取組をつなげて具現化するものであり、地球温暖化の防止及び防災力の強化に貢献するとともに、地域の課題解決や更なる魅力創出等、地域の一層の発展を図り、持続可能なまちづくりの実現につなげてまいります。<プレスリリースから抜粋>

連携事項

1. カーボンニュートラルのまちづくりの実現に向けた取組のトータルコーディネートに関する事項
2. エネルギーの地産地消に関する事項
3. 個人、事業者、市所有施設への太陽光発電設備等の普及に関する事項
4. カーボンニュートラルエネルギーの調達や公共施設等への提供に関する事項
5. エネルギーデータの活用等によるエネルギーマネジメントに関する事項
6. 地域の防災機能強化等に関する事項
7. 学校等の地域における環境エネルギー教育や食育等を通じた啓発活動に関する事項
8. カーボンニュートラルのまちづくりに向けた取組における専門的人材の支援強化に関する事項
9. カーボンニュートラルのまちづくりに係る魅力等の情報発信に関する事項
10. その他住民へのサービス向上、カーボンニュートラルのまちづくりに関する事項

以上

エコクマ、エコアラ（裏表紙の絵）

地球温暖化で棲んでいるところを追われ、東京都日野市にやってきたエコクマ。日野市の多摩動物公園で生まれたエコアラ。地球温暖化に心を痛め、エコ活動を始めたよ。

2人で力を合わせてがんばるぞ。応援よろしくね！

日野市の環境を
守ろう！



令和6年度（2024年度）
日野市環境環境活動情報レポート

発行：令和8年（2026年）3月 日野市

編集：日野市 環境共生部 環境政策課

〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1

TEL 042-514-8294

URL <https://www.city.hino.lg.jp>

身近な生きものと共生できる環境を次世代につなごう！